

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち						
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する						
	2 目	事務局費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる						
小 事 業		教育総務事務局費									
事 業 名		教職員健康診断実施事業									
目的及び事業内容		定期健康診断の確実な実施により教職員の健康状態を把握し、疾患の早期発見や疾病予防に資する。 ・教職員健康診断の実施									
取 組 実 績		<p>定期健康診断検査項目 診察、身体測定、心電図、血圧、白血球、便潜血、肝臓・尿路系、糖代謝、眼底、肝臓、脂質代謝、血液、胃部X線 健康診断については、市内の教職員のうち人間ドックを受診したものを除き、全員を対象とし実施した。 また、近年増加傾向にあり今後の課題である、精神的な病気へのケアにおいて、正規の勤務時間外における長時間労働者で希望する者へ、医者との面接指導を実施した。</p>									
成 果		<p>定期健康診断を行い、正しく受診することにより健康状態を把握することや、疾患の早期発見、疾病の予防に役立つことができた。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>教職員数</td> <td style="text-align: right;">1,172 人</td> </tr> <tr> <td>健診受診者数</td> <td style="text-align: right;">822 人</td> </tr> <tr> <td>人間ドック受診 (婦人科健診者を除く。)</td> <td style="text-align: right;">222 人</td> </tr> </table> <p>受診率 <u>89.08 %</u></p>				教職員数	1,172 人	健診受診者数	822 人	人間ドック受診 (婦人科健診者を除く。)	222 人
教職員数	1,172 人										
健診受診者数	822 人										
人間ドック受診 (婦人科健診者を除く。)	222 人										
成果に係る評価		健康維持・増進や疾病予防に効果を上げているが、近年、精神的な負担が増えている状況が見られ、メンタル面に係る対応についても検討していく必要があることから、正規の勤務時間外における長時間労働者で希望する者へ、医者との面接指導を実施した。									
(単位：円)											
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳								
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源					
	11,000,000	10,087,570				10,087,570					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち												
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する												
	3 目	教育指導奨励費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる												
小 事 業		教育指導奨励費															
事 業 名		教育研究団体等支援事業（文化活動補助事業）															
目的及び事業内容		<p>小・中学校文化活動（音楽コンクール等）の充実を図るとともに、県大会以上の大会へ出場する際の交通費の一部助成等により保護者負担を軽減する。</p> <p>・補助金の交付（体育活動については体育振興課所管）</p>															
取 組 実 績		<p>補助金の交付 音楽コンクール県大会以上に参加した小・中学校に対し、大会に参加する交通費の一部及び楽器輸送費を助成した。</p> <p>・県大会参加回数 8回（6校） ・東北大会参加回数 1回（1校） ・補助金交付額 232,775円</p>															
成 果		<p>音楽コンクールにおける県大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>4校（10件）</td> <td>5校（8件）</td> <td>6校（9件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>308,436円</td> <td>272,250円</td> <td>232,775円</td> </tr> </tbody> </table>				主な指標項目	H20	H21	H22	補助対象校（補助件数）	4校（10件）	5校（8件）	6校（9件）	補助金交付額	308,436円	272,250円	232,775円
主な指標項目	H20	H21	H22														
補助対象校（補助件数）	4校（10件）	5校（8件）	6校（9件）														
補助金交付額	308,436円	272,250円	232,775円														
成果に係る評価		<p>各学校での文化活動に対する補助は、県大会等に参加する際の保護者負担軽減の観点から、継続して推進することが必要である。</p> <p>平成21年度までは旧市内小・中学校のみが補助金の対象だったが、平成22年度から市内全小・中学校を対象とした。</p>															
（単位：円）																	
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳														
	決算額		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源											
	420,000	232,775				232,775											

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																
	3 目	教育指導奨励費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																
小 事 業	奨学資金費																				
事 業 名	奨学金貸与事業																				
目的及び事業内容	石巻市奨学金貸与条例、石巻市篤志奨学資金貸与基金条例の理念に基づき奨学金を貸与し、有能な人材を育成する。 ・奨学金の貸与、償還																				
取 組 実 績	<p>1 奨学金の貸与</p> <p>(1) 奨学生の新規募集を行い、奨学生選考委員会で39名の新規貸与者を決定した。</p> <p>(2) 貸与区分（月額）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高校在学</td> <td rowspan="2">15,000円</td> <td rowspan="2">高専在学</td> <td>第3学年まで</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>第4学年以上</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td>大学在学</td> <td>35,000円</td> <td>専修学校在学（専門課程）</td> <td>35,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 貸与者数 132名 (4) 貸与金額 47,520,000円</p> <p>2 奨学金の償還 滞納者対策の実施 支払催告通知の発送、電話催告を随時実施した。</p>					区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで	15,000円	第4学年以上	35,000円	大学在学	35,000円	専修学校在学（専門課程）	35,000円	
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																		
高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで	15,000円																	
			第4学年以上	35,000円																	
大学在学	35,000円	専修学校在学（専門課程）	35,000円																		
成 果	<p>有能にも関わらず経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>奨学金貸与者数 （うち新規貸与者数）</td> <td>152人（35人）</td> <td>144人（41人）</td> <td>132人（39人）</td> </tr> <tr> <td>貸与金額</td> <td>53,280,000円</td> <td>50,400,000円</td> <td>47,520,000円</td> </tr> <tr> <td>滞納額</td> <td>24,293,600円</td> <td>28,658,000円</td> <td>34,631,200円</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H20	H21	H22	奨学金貸与者数 （うち新規貸与者数）	152人（35人）	144人（41人）	132人（39人）	貸与金額	53,280,000円	50,400,000円	47,520,000円	滞納額	24,293,600円	28,658,000円	34,631,200円
主な指標項目	H20	H21	H22																		
奨学金貸与者数 （うち新規貸与者数）	152人（35人）	144人（41人）	132人（39人）																		
貸与金額	53,280,000円	50,400,000円	47,520,000円																		
滞納額	24,293,600円	28,658,000円	34,631,200円																		
成果に係る評価	<p>昨今の経済情勢下において、より多くの生徒や学生が奨学制度を利用できるよう家計急変等に対応するための年度内途中採用を平成22年度から実施した。</p> <p>また、震災で償還者が被災したことや金融機関の取扱店が限定されて混雑したことが影響し、年度末までに納付できない償還者が多かったため、滞納額が急激に増加した。</p>																				
（単位：円）																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源															
	47,789,000	47,766,500			47,766,500																

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち								
	1 項	教育総務費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する								
	3 目	教育指導奨励費		( 1 )	広い視野を持つ人材をはぐくむ								
小 事 業		外国青年英語指導費											
事 業 名		国際理解教育推進事業											
目的及び事業内容		幼稚園及び小・中・高等学校における A L T（外国語指導助手）を活用しての授業や交流を通して、英語教育と国際理解教育の充実を図る。 1 市立中・高等学校における英語教育の充実 2 市立幼稚園・小学校・けやき教室における国際理解教育の推進											
取 組 実 績		1 A L T 10名が市立中・高等学校を各校年間35日以上訪問し、英語学習指導と国際理解教育活動の充実を図った。 2 市立幼稚園・小学校・けやき教室を訪問し、外国語活動や国際理解教育の充実を図った。											
成 果		A L T が中学校、高等学校を中心にしながら、小学校・幼稚園・けやき教室にも訪問し、英語活動や国際理解教育を進めることができた。平成21年度に比べて微増であるものの、依然として高い水準で「楽しい」と感じる生徒の割合を維持できている。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）</td> <td>75.4%</td> <td>81.3%</td> <td>82.0%</td> </tr> </tbody> </table>				主な指標項目	H20	H21	H22	A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）	75.4%	81.3%	82.0%
主な指標項目	H20	H21	H22										
A L T との授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学1・2年生）	75.4%	81.3%	82.0%										
成果に係る評価		平成23年度からは、小学校でも外国語活動が完全実施され、その対応として外国語活動指導補助員を配置する。それに伴い、今後 A L T の小学校への訪問回数を減らし、その分中学校・高等学校への訪問回数を増やして指導を充実させていく方向である。 また、今後は A L T を J E T（語学指導を行う外国語青年招致事業）から Non-J E T（国内の民間事業者への業務委託）に段階的に切り替えていく方向で検討したい。											
（単位：円）													
予算の執行状況	予算額		決算額										
			決算額の財源内訳										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源							
46,650,000		45,037,683			45,037,683								

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																
	3 目	教育指導奨励費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																
小 事 業	ハイスクールカウンセラー配置事業費																																				
事 業 名	ハイスクールカウンセラー配置事業																																				
目的及び事業内容	<p>カウンセラーによる相談活動を通して、生徒・保護者・教職員の精神的安定を図るとともに、問題行動等の未然防止や解決による生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員へのカウンセリングの実施 3 学校におけるカウンセリング講座等の支援活動</p>																																				
取 組 実 績	<p>1 ハイスクールカウンセラーの配置 市立高等学校2校に配置</p> <p>2 生徒・保護者・教職員の要望に応じたカウンセリングの実施 1日6時間、年間30日の勤務を原則とし、月平均2～3日の勤務体制でカウンセリングを実施した。</p> <p>3 カウンセリング講座等の支援活動 (1) 教職員・生徒を対象としたカウンセリング講座の実施 (2回) (2) 教育相談情報交換会・ケース会議 (9回) の実施</p>																																				
成 果	<p>生徒の不安や悩みの状況に応じたカウンセリングが実施されており、生徒の心の安定を図る上で効果的に機能している。また、カウンセラーと教員との情報交換やケース会議等を通じて、学校内で連携が取られ、心の問題を抱える生徒に対して適時な対応を行うことができた。特に支援が必要な生徒については、カウンセラー・教育相談係・養護教諭・担任等との連携により、本人及び保護者に対するアドバイス等を行うことで成果が上がっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>216件</td> <td>220件</td> <td>244件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>317人</td> <td>305人</td> <td>342人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22相談人数内訳</th> <th>生 徒</th> <th>教 員</th> <th>保 護 者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女子高校</td> <td>75人</td> <td>92人</td> <td>13人</td> <td>180人</td> </tr> <tr> <td>女子商業高校</td> <td>23人</td> <td>134人</td> <td>5人</td> <td>162人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>98人</td> <td>226人</td> <td>18人</td> <td>342人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 生徒の相談内容は、多い順に、「人間関係・友人関係」、「学校生活」、「家族関係」である。 ※ 教員の相談件数は、「生徒の対応」が7件、「情報交換」が124件、合計131件である。</p>					主な指標項目	H20	H21	H22	相談件数	216件	220件	244件	相談人数	317人	305人	342人	H22相談人数内訳	生 徒	教 員	保 護 者	計	女子高校	75人	92人	13人	180人	女子商業高校	23人	134人	5人	162人	計	98人	226人	18人	342人
主な指標項目	H20	H21	H22																																		
相談件数	216件	220件	244件																																		
相談人数	317人	305人	342人																																		
H22相談人数内訳	生 徒	教 員	保 護 者	計																																	
女子高校	75人	92人	13人	180人																																	
女子商業高校	23人	134人	5人	162人																																	
計	98人	226人	18人	342人																																	
成果に係る評価	<p>多感な時期にある高校生は心にかかえる悩みも多く、カウンセリングによって支えられる部分も大きい。生徒の心を安定させ、落ち着いた学校生活を送らせるためには、カウンセラーによる相談体制を維持することが重要である。この観点からハイスクールカウンセラー配置事業の効果は大きく、今後も継続が必要である。</p>																																				
予算の執行状況	(単位：円)																																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
1,889,000	1,888,200				1,888,200																																

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																						
	1 項	教育総務費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する																						
	3 目	教育指導奨励費		( 1 )	地域・家庭の教育力を強化する																						
小 事 業	いじめ・生徒指導問題対策費																										
事 業 名	いじめ・生徒指導問題対策事業																										
目的及び事業内容	<p>いじめや不登校、その他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期解決を図る。</p> <p>1 いじめ生徒指導問題対策委員会の実施  2 いじめの防止や解決にかかる研修会の実施  3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布  4 「Stopいじめ！石巻市子どもサミット」の実施</p>																										
取 組 実 績	<p>1 いじめ・生徒指導問題対策委員会の実施  市内の生徒指導上の諸問題について、19名の委員が3回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。</p> <p>2 いじめ・生徒指導問題対策にかかる研修会の実施  (1) 生徒指導上の課題である不登校問題に対応するため、市内教職員・保護者を対象に講演会を実施した。  (2) 不登校児童生徒の増加に伴い、小・中学校の生徒指導担当者・養護教諭等を対象にして、市内の実態把握に努めるとともに、事例をもとに話し合いを行い、関係機関担当者から助言等受けることにより、各校での不登校対策の取り組みに活かすための研修会を3回実施した。</p> <p>3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布  いじめ防止標語（小・中・高）、いじめ防止メッセージ（中・高）を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。</p> <p>4 「Stopいじめ！石巻市子どもサミット」の実施  市内21中学校から代表生徒2名が参加し、前年度策定した宣誓文をもとに、生徒の手による具体的な取り組み方について意見交換し、生徒会活動等での取り組みに反映させた。</p>																										
成 果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">主な指標項目</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">いじめの件数</td> <td>小 学 校</td> <td>10件</td> <td>4件</td> <td>26件</td> </tr> <tr> <td>中 学 校</td> <td>25件</td> <td>15件</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>高 校</td> <td>15件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>50件</td> <td>21件</td> <td>44件</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目		H20	H21	H22	いじめの件数	小 学 校	10件	4件	26件	中 学 校	25件	15件	18件	高 校	15件	2件	0件	計	50件	21件	44件
主な指標項目		H20	H21	H22																							
いじめの件数	小 学 校	10件	4件	26件																							
	中 学 校	25件	15件	18件																							
	高 校	15件	2件	0件																							
	計	50件	21件	44件																							
成果に係る評価	<p>いじめの発生件数は、小学校で増加、中学校では横ばい状態であり、いじめ問題は、依然として憂慮すべき状況にあり、本事業の中で全市的な取組を推進することが大切と考える。</p> <p>平成22年度の第2回いじめサミットの結果を受けて、各中学校でサミット参加生徒を中心として、生徒会等の自主的、自治的な活動の中でいじめ予防のための具体的な取組を開始するなど、意識を高めることができた。</p> <p>いじめ防止標語・心のメッセージ集は道徳や学活の授業などで活用されており、児童・生徒への啓発に役立っている。</p>																										
予算の執行状況	(単位：円)																										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	842,000	462,750				462,750																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ																
小 事 業	適応指導教室運営費																				
事 業 名	適応指導教室運営事業																				
目的及び事業内容	<p>不登校児童生徒個々の実態等に応じた生徒指導、学習指導、適応指導を行い、自立を促しながら学校への復帰を図る。</p> <p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実</p>																				
取 組 実 績	<p>1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携</p> <p>通所児童生徒や保護者との定期的教育相談を行ったほか、機会をとらえての相談等も行って悩み等に受容的に対応した。</p> <p>2 児童生徒の実態等に応じた学習指導</p> <p>(1) 通所児童生徒一人一人の実態や学年を踏まえ、適切な教材を準備し、個に応じた指導・支援を行った。</p> <p>(2) 在籍校との連携を深め、学級担任との連絡を密に行ったほか、適応指導教室での定期考査受験や学校で使用しているプリントでの学習などにより、帰属感の育成を図った。</p> <p>3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実</p> <p>絵手紙教室、東北歴史博物館の見学や花器づくり、調理実習、清掃活動等の体験活動を通して、仲間とともに活動する楽しさや成就感を味あわせた。</p>																				
成 果	<p>教育相談活動や学習活動、体験活動の充実、保護者や学校との連携強化により、児童生徒の再登校への意欲を高め、一定の成果をあげている。</p> <p>しかし、適応指導教室通所児童生徒の状況は個々によって多様であり、再登校に向けての糸口を見つけることは難しくなっている。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数</td> <td>85件</td> <td>90件</td> <td>78件</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の再登校率</td> <td>16.7%</td> <td>22.2%</td> <td>18.1%</td> </tr> <tr> <td>通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)</td> <td>83.3%</td> <td>70.0%</td> <td>81.8%</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H20	H21	H22	不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	85件	90件	78件	通所児童生徒の再登校率	16.7%	22.2%	18.1%	通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)	83.3%	70.0%	81.8%
主な指標項目	H20	H21	H22																		
不登校児童生徒の保護者、担任等との相談件数	85件	90件	78件																		
通所児童生徒の再登校率	16.7%	22.2%	18.1%																		
通所児童生徒の部分登校率 (再登校者を含む)	83.3%	70.0%	81.8%																		
成果に係る評価	<p>平成22年度の不登校児童生徒が小・中合わせて200人となり、不登校状態が長期に及ぶケースも少なくない。各学校で改善の努力はしているが、指導が困難な事例も多く、不登校児童生徒の減少には至っていないことから、専門的な対策チームを構成して本人や家庭に積極的に働きかける必要がある。</p> <p>そのため、適応指導教室を基盤とし、市民相談センター相談員、不登校対応相談員、スクールソーシャルワーカー、青少年育成員、いじめ・生徒指導問題対策委員会委員、民生委員・児童委員協議会委員らをメンバーとする市立小・中学校不登校児童生徒対応協議会を設置し、対策に当たっていききたい。</p>																				
予算の執行状況	(単位：円)																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源															
4,848,000	4,701,775			193,000	4,508,775																

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																												
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																												
	3 目	教育指導奨励費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																												
小 事 業	スクールカウンセラー配置事業費																																																
事 業 名	スクールカウンセラー配置事業																																																
目的及び事業内容	<p>カウンセラーの相談活動により、生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、生徒の健全育成に資する。</p> <p>1 スクールカウンセラーの配置 2 生徒・保護者・教職員・学区内小学生等の要望に応じたカウンセリングの実施 3 カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施</p>																																																
取 組 実 績	<p>1 スクールカウンセラーの配置 中学校全21校に配置（臨床心理士13人、臨床心理士に準ずる者8人）</p> <p>2 カウンセリングの実施状況 (1) 中学校 年間23～32日、小学校 年間5～8日 (2) 1日のカウンセリング実施時間（県で決定） 6時間</p> <p>3 カウンセリング研修等の実施 各学校で研修日を設定して実施 （内容）カウンセリング実技研修、カウンセリング理論、エンカウンター実習など</p>																																																
成 果	<table border="1"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>3,523件</td> <td>3,206件</td> <td>3,514件</td> </tr> <tr> <td>相談人数</td> <td>4,266人</td> <td>4,149人</td> <td>3,972人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">H22相談人数割合</th> </tr> <tr> <td>児童生徒</td> <td>47.4%</td> </tr> <tr> <td>教 員</td> <td>33.6%</td> </tr> <tr> <td>保 護 者</td> <td>19.0%</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>H22主な相談内容</th> <th>生徒</th> <th>児童</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>学校生活</td> <td>293件</td> <td>44件</td> <td>337件 (9.6%)</td> </tr> <tr> <td>学校不適應</td> <td>278件</td> <td>28件</td> <td>306件 (8.7%)</td> </tr> <tr> <td>人間関係</td> <td>322件</td> <td>67件</td> <td>389件 (11.1%)</td> </tr> <tr> <td>進 路</td> <td>101件</td> <td>18件</td> <td>119件 (3.4%)</td> </tr> <tr> <td>家 族</td> <td>95件</td> <td>15件</td> <td>110件 (3.1%)</td> </tr> </table>					主な指標項目	H20	H21	H22	相談件数	3,523件	3,206件	3,514件	相談人数	4,266人	4,149人	3,972人	H22相談人数割合		児童生徒	47.4%	教 員	33.6%	保 護 者	19.0%	H22主な相談内容	生徒	児童	計	学校生活	293件	44件	337件 (9.6%)	学校不適應	278件	28件	306件 (8.7%)	人間関係	322件	67件	389件 (11.1%)	進 路	101件	18件	119件 (3.4%)	家 族	95件	15件	110件 (3.1%)
主な指標項目	H20	H21	H22																																														
相談件数	3,523件	3,206件	3,514件																																														
相談人数	4,266人	4,149人	3,972人																																														
H22相談人数割合																																																	
児童生徒	47.4%																																																
教 員	33.6%																																																
保 護 者	19.0%																																																
H22主な相談内容	生徒	児童	計																																														
学校生活	293件	44件	337件 (9.6%)																																														
学校不適應	278件	28件	306件 (8.7%)																																														
人間関係	322件	67件	389件 (11.1%)																																														
進 路	101件	18件	119件 (3.4%)																																														
家 族	95件	15件	110件 (3.1%)																																														
成果に係る評価	<p>配置校の生徒・保護者・職員からの相談に対応することで、積極的生徒指導推進に資することから継続していく必要がある。今後は、小学校へも配置されることから、有効な活用が必要である。</p>																																																
予算の執行状況	（単位：円）																																																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																											
575,000	483,052				483,052																																												



予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ
小 事 業		特別支援教育事業費			
事 業 名		特別支援教育支援員配置事業			
目的及び事業内容		<p>通常の学級に在籍している発達障害を持つ児童の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に支援員を配置する。</p> <p>1 小学校へ支援員の配置 2 当該児童への支援の工夫</p>			
取 組 実 績		<p>1 支援員の配置状況 市内小学校 20校に配置 石巻小、住吉小、門脇小、湊小、湊第二小、釜小、山下小、蛇田小、渡波小、稲井小、向陽小、貞山小、開北小、万石浦小、中里小、鹿妻小、雄勝小、広瀬小、和瀬小、中津山第二小</p> <p>2 通常学級における当該児童への支援 通常学級に在籍する、知的障害、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症、選択的緘黙、ダウン症等の子どもたちへの学習・生活支援をすることで、担任教員の指導補助を行った。各学校では、学級や個人への支援のあり方について研修するなどして、支援員の活用を工夫した。</p> <p>3 特別支援教育支援員研修会の実施 分科会に分かれて、日常支援の様子等について情報交換をした。</p>			
成 果		<p>特別な支援を必要とする子どもの実情等に応じた学習・生活指導についての充実が図られた。また、支援対象児童の保護者から、「支援が充実したことで安心できる、感謝している」という声が多く寄せられている。</p> <p>また、研修会を実施したことによりいろいろな学校の情報を得ることができ、支援員にとっては有意義な研修会になったようである。</p>			
成果に係る評価		<p>特別支援教育の転換により、通常学級における特別な支援の充実が求められていることから、特別支援教育支援員の存在は、障害をもつ児童生徒への支援や学級への学習指導等の充実につながるなど、大きな成果をあげている。学校や保護者から、事業拡充を望む声も大きいことから、今後配置拡充が必要である。</p>			
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	19,720,000	19,456,985			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち								
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する								
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ								
小 事 業	就学前ことばの教室運営費												
事 業 名	就学前ことばの教室運営事業												
目的及び事業内容	<p>言語の障害を早期に発見し、適切な矯正支援を行う。</p> <p>1 ことばの診断、教育相談の実施</p> <p>2 ことばの教室における指導</p>												
取 組 実 績	<p>1 ことばの診断、教育相談の実施 河北幼稚園、飯野川保育所、大川保育所、二俣保育所、大谷地保育所等の園児、幼児を対象に、保護者や担任からの申し出をもとに、ことばに関する様々な悩みや問題について、教育相談を実施した。</p> <p>2 ことばの教室における指導 (1) ことばの診断、教育相談をもとに、通級指導が適当と診断された園児、幼児に対し、個別の実態に基づく指導を行った。週1~2回の通級指導を原則とし、改善の状況を見ながら継続的に指導した。 (2) 通級指導を受けた園児、幼児 25人（平成21年度は24人）</p>												
成 果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通級する園児のうち、改善がみられた人数（割合）</td> <td>6 人 (21.4%)</td> <td>11 人 (45.8%)</td> <td>6 人 (24.0%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>改善がみられた6名は、すべて5歳児である。 その他、改善に不十分な点がある5歳児のうち、8名は飯野川一小ことばの教室へ、1名は女川一小ことばの教室へ、個々の課題の引き継ぎがなされ、継続指導が行われている。 3歳児、4歳児については、小学校入学までの改善を目標に指導が継続されている。</p>					主な指標項目	H20	H21	H22	通級する園児のうち、改善がみられた人数（割合）	6 人 (21.4%)	11 人 (45.8%)	6 人 (24.0%)
主な指標項目	H20	H21	H22										
通級する園児のうち、改善がみられた人数（割合）	6 人 (21.4%)	11 人 (45.8%)	6 人 (24.0%)										
成果に係る評価	<p>就学前のことばの指導は、ことばの障害の早期発見・改善に大きな成果をもたらしている。しかし、現在は河北地区を中心に事業展開されており、市内全域への対応が難しく、受入体制の拡充を含め検討する必要がある。</p>												
予算の執行状況	(単位：円)												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
67,000	64,416				64,416								

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち										
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する										
	3 目	教育指導奨励費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる										
小 事 業	ふるさと大好き中学生育成事業費														
事 業 名	ふるさと大好き中学生育成事業														
目的及び事業内容	<p>市内中学校の全1年生が、奉仕活動や福祉体験、地域づくり支援活動などを行い、思いやりの心や公共心、勤労観、郷土愛等将来にわたり社会の中で生きていく力の涵養を図る。</p> <p>・地域における奉仕作業、福祉体験活動等の実施</p>														
取 組 実 績	<p>地域における奉仕作業、福祉体験活動の実施          中学校21校において、地域の実情等を考慮した奉仕作業や福祉体験活動を実施した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>職場体験</th> <th>保育所訪問</th> <th>地域清掃</th> <th>介護施設等訪問</th> <th>地域学習</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1校</td> <td style="text-align: center;">1校</td> <td style="text-align: center;">13校</td> <td style="text-align: center;">4校</td> <td style="text-align: center;">2校</td> </tr> </tbody> </table>					職場体験	保育所訪問	地域清掃	介護施設等訪問	地域学習	1校	1校	13校	4校	2校
職場体験	保育所訪問	地域清掃	介護施設等訪問	地域学習											
1校	1校	13校	4校	2校											
成 果	<p>市内中学校の全1年生が、職場体験学習や地域の奉仕作業・福祉体験活動を行い、地域の人々や職業人との交流を通して、ふるさと石巻の環境や自分の住む地域への思いを新たにするとともに、挨拶や言葉遣いの大切さ、仕事の厳しさや喜びを味わうことができた。また、老人ホームへの訪問を通し、老人をいたわる気持ちや奉仕の気持ちを養った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>奉仕活動・福祉体験等を実施した中学校数</td> <td style="text-align: center;">23校 (全中学校)</td> <td style="text-align: center;">23校 (全中学校)</td> <td style="text-align: center;">21校 (全中学校)</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H20	H21	H22	奉仕活動・福祉体験等を実施した中学校数	23校 (全中学校)	23校 (全中学校)	21校 (全中学校)		
主な指標項目	H20	H21	H22												
奉仕活動・福祉体験等を実施した中学校数	23校 (全中学校)	23校 (全中学校)	21校 (全中学校)												
成果に係る評価	<p>中学1年生が地域社会への奉仕活動などに取り組むことで、中学生としての社会参加意識や望ましい勤労観等の育成につながっているほか、開かれた学校づくりの推進や学校に対する地域の信頼感醸成にも結びつくことから、今後も継続が必要と考える。</p> <p>なお、県の事業であった「13歳の社会へのかけ橋づくり事業」が平成21年度で事業終了となったことから、平成22年度以降は、市の独自事業として「ふるさと大好き中学生育成事業」として実施している。</p>														
予算の執行状況	(単位：円)														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
342,000	271,895				271,895										

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる」力を持つ子どもたちを育成する
	3 目	教育指導奨励費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる
小 事 業	原子力・エネルギーに関する教育支援事業費				
事 業 名	原子力・エネルギーに関する教育支援事業				
目的及び事業内容	<p>児童生徒一人一人に対し、社会生活を営む上での原子力やエネルギーの大切さについての理解を深めさせるとともに、それらの活用などを通して、自ら考え判断する力を付けさせる。</p> <p>・副教材の作成・購入</p>				
取 組 実 績	<p>本事業により、以下の教材を購入配置した。</p> <p>1 新学習指導要領対応教材として、全中学校21校に小型ペルチェ霧箱と電源装置を配置</p> <p>2 事業希望小・中学校10校に、エネルギー学習のための教材を配置</p> <p>3 事業希望小学校1校で、理科授業研修会を実施</p>				
成 果	<p>風力、太陽光発電等の自然エネルギーや、燃料電池等の新エネルギーについて学習できる教材を、各学校の希望をもとに整備し、児童生徒の主体的なエネルギーについての学習を促すことができた。中学校においては、新学習指導要領への移行に即して、放射線について視覚的に学習することができ実験機器を全中学校に整備することができた。</p> <p>また、理科授業研修会を開催することで、理科及びエネルギー教育における教員の指導力向上に資することができた。</p>				
成果に係る評価	<p>原子力やエネルギーについての学習は、新学習指導要領において、これまで以上に重視されている。また、原子力発電所事故が深刻な問題となっている現状において、原子力について正しい知識を持ち行動できる資質を養うことは重要である。特に、本市は近隣に原子力発電所が立地しており、本事業により、原子力・エネルギー教育の充実を図る意義は大きい。</p>				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	2,900,000	2,895,052	2,895,052		

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ
小 事 業	学習支援室システム整備事業費				
事 業 名	学習支援室システム整備事業				
目的及び事業内容	<p>障害のある生徒が通常の学級に在籍して学習するための指導・支援を行う校内支援システムの構築を図る。</p> <p>1 当該生徒の実情に応じた個別の指導計画の作成</p> <p>2 個別の指導計画による教育の実施</p>				
取 組 実 績	<p>1 当該生徒の実情等に応じた個別の指導計画の作成 生徒の変容等に応じ、交流の在り方などを工夫した指導計画を作成し、共通理解を図った。</p> <p>2 個別の指導計画による教育の実施</p> <p>(1) 通常の学級における教科等の指導</p> <p>(2) 学習支援室における自立活動等の指導</p> <p>(3) その他学年学級行事等への参加</p>				
成 果	<p>1 授業での交流や休み時間等のかかわりの中で、周囲の生徒からの声かけや働きかけが当該生徒を望ましい形で刺激しており、笑顔が出たり元気になったりの影響を与えている。</p> <p>2 通常学級在籍の生徒と保護者の障害への理解が深まり、「共に生きる」社会実現に向けた基盤づくりにつながっている。</p> <p>3 学校におけるコーディネーターを中心とした特別支援教育体制の構築や関係諸機関とのネットワーク化が推進されている。また、校内での特別支援教育に関する研修が推進され、一人ひとりを大切に、思いやりの心を育む指導の充実に結び付いている。</p>				
成果に係る評価	<p>具体的な改革や改善策は該当生徒と接している担当や看護師、保護者の要望も踏まえて、所属学校において日々考慮しながら進めている。これまでの実践を踏まえた成果の有用性が認められるので、現状の維持が大切である。</p>				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	1,525,000	1,463,616	731,808		

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる」力を持つ子どもたちを育成する
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ
小 事 業	石巻の学びステップアップ事業費				
事 業 名	石巻の学びステップアップ事業				
目的及び事業内容	<p>石巻市立小・中学校長会と連携し、児童生徒一人一人の「確かな学力」の育成と学力の向上を図る。</p> <p>1 学力向上推進委員会の設置 「授業改善」、「家庭学習支援」の具体的方策について検討し、事業を行う。</p> <p>2 小・中学校校長会との連携 支会校長会ごとに本事業の目的達成のための計画を立て実践をする。</p> <p>3 学力向上推進地区連絡協議会の設置 各地区の取組み内容について情報交換し、より効果的な方策を検討する。</p>				
取 組 実 績	<p>1 学力向上推進委員会 (1) 家庭学習をテーマとした学力向上フォーラムを開催し、教員・保護者・一般合わせて約320名が参加した。 (2) 家庭用ポスター『家庭学習と生活習慣 5つのトライ! 「い・し・の・ま・き」』を作成し、全家庭に配布した。 (3) 学校と家庭の連携による望ましい生活習慣や家庭学習習慣の形成についての調査を行い、分析結果を教育活動に生かした。</p> <p>2 学力向上推進地区 (1) 保護者や他校教職員を対象とした公開授業を、全ての学力向上推進地区10地区で実施した。 (2) 小・中学校合同による研修会や授業研究会を全地区で実施した。</p>				
成 果	<p>1 小学校と中学校が合同で研修会や授業研究会を実施し、小・中連携の推進が見られた。</p> <p>2 各地区に予算を配当したことで、より専門性の高い講師による研修会を実施する地区が増え、研修の充実を図ることができた。</p> <p>3 各推進地区で作成した家庭学習カードの活用を通して、学校と家庭が連携する必要性について啓発が図られた。</p> <p>4 平成21年度に配布した家庭用リーフレットについては、周知が進みつつあることが分かった。</p>				
成果に係る評価	<p>各地区の事業報告から推察すると、教員の教科指導力の向上や小・中連携の推進については一定の成果があると思われるが、生活習慣や家庭学習習慣の形成については、家庭との連携の在り方を工夫しながら取り組みを継続していく必要がある。また、家庭学習の手引きなど、作成したものをさらに有効に活用することや、小・中学校での9年間を見通した教育実践を進めていく必要がある。</p>				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	3,500,000	2,950,767			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	1 項	教育総務費		第 1 節	「生きる」力を持つ子どもたちを育成する
	3 目	教育指導奨励費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ
小 事 業	問題を抱える子ども等の自立支援事業費				
事 業 名	問題を抱える子ども等の自立支援事業				
目的及び事業内容	<p>いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待への対応といった、学校が抱える課題についての未然防止、早期発見・早期対応につながるような支援を行う。</p> <p>1 問題を抱える児童生徒への効果的な生徒指導、学習指導等の支援  2 問題を抱える児童生徒及び保護者に対する効果的な教育相談の実施  3 家庭や関係機関等との連携</p>				
取 組 実 績	<p>1 不登校児童生徒の再登校を促すための学校への支援・助言  (1) 学校訪問による校長、担任、養護教諭等職員との相談による当該児童生徒の実態把握・支援等の検討・提案  (2) 不登校支援に向けての学校体制構築への支援・助言  2 不登校児童生徒と保護者への再登校を促すための支援・助言  (1) 児童生徒、保護者との面談による親子関係の把握と実態に応じた手立ての提案  (2) 親子の内面にアプローチするためのカウンセリングや具体的な支援策の提案と実践  3 親子の内面にアプローチするためのカウンセリングや具体的な支援策の提案と実践  (1) 東部教育事務所在学青少年育成員やスクールソーシャルワーカーとの連携  (2) 関係諸機関（県東部教育事務所・市民相談センター）との情報交換・役割分担  4 相談員が訪問した小・中学校数（回数） 8校（69回）</p>				
成 果	<p>1 平成21年度の不登校児童生徒数と比較すると、小学校では10名、中学校では6名、合計16名の減となっており、不登校相談員の学校訪問や学校への支援活動によるものと考えられる。</p> <p>2 学校職員との情報交換・面談を通して、個々の児童生徒の実態に応じた支援策を提案するなどして学校の取組を支援することができた。</p> <p>3 不登校児童生徒・保護者との面談を通じ、保護者の子どもの見方及び保護者の養育態度等を把握し、個々の親子関係に応じた具体的な支援策を提案し、実践することができた。</p>				
成果に係る評価	相談員が各学校を訪問し、個別のケースに対応しているが、それらをスクールカウンセラーや他の相談機関と有機的に結び付けていくことが必要である。				
（単位：円）					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国（県）支出金	地方債	その他
	762,000	758,076	574,552		

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																					
	1 目	学校管理費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																					
小 事 業	小学校管理費（教育総務課）																																									
事 業 名	遠距離通学支援事業（小学校）																																									
目的及び事業内容	遠距離通学の対象となるすべての児童に対し、公共交通機関やスクールバスの活用を促すことにより、安全且つ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・スクールバス等の運行 ・遠距離通学費補助金の交付																																									
取 組 実 績	遠距離通学の対象者のスクールバス、ボートの活用及び公共交通機関を活用した児童への、交通費の助成を行なった。 1 スクールバス等運行委託料 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス</td> <td>H21</td> <td>9校</td> <td>256人</td> <td>36,390,323円</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>9校</td> <td>231人</td> <td>36,329,373円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スクールボート</td> <td>H21</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>1,159,000円</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>1,330,360円</td> </tr> </tbody> </table> 2 遠距離通学補助金 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学</td> <td>H21</td> <td>4校</td> <td>87人</td> <td>3,006,560円</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>4校</td> <td>86人</td> <td>2,961,653円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	年度	学校数	対象人数	金額	スクールバス	H21	9校	256人	36,390,323円	H22	9校	231人	36,329,373円	スクールボート	H21	1校	1人	1,159,000円	H22	1校	1人	1,330,360円	区分	年度	学校数	対象人数	金額	遠距離通学	H21	4校	87人	3,006,560円	H22	4校	86人	2,961,653円
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																						
スクールバス	H21	9校	256人	36,390,323円																																						
	H22	9校	231人	36,329,373円																																						
スクールボート	H21	1校	1人	1,159,000円																																						
	H22	1校	1人	1,330,360円																																						
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																						
遠距離通学	H21	4校	87人	3,006,560円																																						
	H22	4校	86人	2,961,653円																																						
成 果	学校統廃合などにより遠距離通学となった児童へスクールバス等の運行や公共交通機関の利用を促すことで、登下校の安全の確保が図られた。																																									
成果に係る評価	遠距離通学児童の安全・安心を図るため継続が必要な事業であるが、地域の実情を考慮しつつ、適正な運行を模索していく必要がある。																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																				
41,051,753	40,621,386				40,621,386																																					



予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	2 項	小学校費		第 3 節	新たな時代を想像する人材を育成する
	1 目	学校管理費		( 1 )	広い視野を持つ人材をはぐくむ
小 事 業	小学校管理費（学校教育課）				
事 業 名	小学校外国語活動指導補助員モデル活用事業				
目的及び事業内容	<p>小学校学習指導要領の改訂により、小学校第5学年及び第6学年に外国語活動が新設され、平成23年度から全面実施されるため、小学校に外国語活動指導補助員を配置し、小学校外国語活動の課題等の整理及び検証を行う。</p>				
取 組 実 績	<p>1 小学校外国語活動指導補助員活用モデル校の指定 門脇小学校、鹿妻小学校、開北小学校、湊第二小学校、渡波小学校、前谷地小学校、広淵小学校、北村小学校の8校をモデル校として指定した。</p> <p>2 モデル校における外国語活動 補助員5名を上記8校のモデル校に配置し、1クラス当たり年間35回の外国語活動を行った。</p>				
成 果	<p>1 児童の興味・関心の向上 (1) 外国語を生で聞かせることにより、授業を進める上で、児童の外国語への興味・関心を高めることができた。 (2) 担任と補助員が英語でデモンストレーションを行うことで、よりイメージを膨らませ外国語活動に意欲的に取り組ませることができた。</p> <p>2 コミュニケーション能力の向上 補助員の支援により、児童の発音やコミュニケーション能力を高める手法として有効であった。</p> <p>3 担任の負担軽減 外国語活動を初めて指導する教師に対し、指導員が適切にアドバイスをしており、安心して指導に当たることができることにより、担任の負担軽減につながった。</p>				
成果に係る評価	<p>小学校では総合的な学習の時間の中で外国語活動を実施しているが、実態調査では、今後の指導への不安等は少ない状況である。事業成果により、指導補助員の活用は効果的な指導方法であるため、次のような課題を解決しながら、平成23年度からの全面実施に伴い、より良い事業を目指して推進していく。</p> <p>1 担任と補助員との打ち合わせ時間の確保 2 補助員が勤務する曜日が固定されているため、行事等で授業が変更になった場合に、代替時間の確保が難しい。 3 市内43小学校への配置のための人材の確保、A L T の活用と関連させた配置計画（特に半島部）</p>				
予算の執行状況	（単位：円）				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国（県）支出金	地方債	その他
1,785,000	1,785,000				1,785,000

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち										
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する										
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ										
小 事 業	小学校保健費														
事 業 名	学校医・薬剤師配置事業（小学校）														
目的及び事業内容	各学校に学校医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、児童に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置														
取 組 実 績	<p>1 学校医の配置 市立小学校43校に、学校医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や就学時健康診断の健診業務を実施</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>歯 科 医</td> <td>31人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 市立小学校43校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>25人</td> </tr> </table>					内 科 医	31人	眼 科 医	6人	耳 鼻 科 医	6人	歯 科 医	31人	薬 剤 師	25人
内 科 医	31人														
眼 科 医	6人														
耳 鼻 科 医	6人														
歯 科 医	31人														
薬 剤 師	25人														
成 果	<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、児童の健全育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>2 学校施設における日常点検や定期検査の実施等により、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>														
成果に係る評価	児童に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。ただ、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の学校医を兼務している実態もあることから、市立病院とも連携を図るなど、学校への医師派遣事業を継続する必要がある。														
予算の執行状況	（単位：円）														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源									
32,526,000	31,544,740	935,000			30,609,740										

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																		
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																		
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ																		
小 事 業	小学校保健費																						
事 業 名	健康診断・検査等実施事業（小学校）																						
目的及び事業内容	<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、児童の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>																						
取 組 実 績	<p>1 児童の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科検診、結核健診、心臓病検診、就学時健診、尿検査、寄生虫卵検査 定期健康診断については、市内小学校全学年、心臓病健診については、対象学年である1年生及び4年生に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 小学校各校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>																						
成 果	<p>定期健康診断を行い、児童の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し、児童の健康管理に努めた。また、学校の水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <table border="1"> <tr> <td>1 定期健康診断</td> <td>小学生</td> <td>8,711人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> <td>1,330人</td> <td>4年生</td> <td>1,417人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 飲料水水質検査</td> <td>小学校</td> <td>43校</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					1 定期健康診断	小学生	8,711人				心臓病検診	1年生	1,330人	4年生	1,417人		2 飲料水水質検査	小学校	43校			
1 定期健康診断	小学生	8,711人																					
心臓病検診	1年生	1,330人	4年生	1,417人																			
2 飲料水水質検査	小学校	43校																					
成果に係る評価	<p>児童の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方について、検討していく必要がある。</p>																						
予算の執行状況	(単位：円)																						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
16,270,000	14,572,464	48,000			14,524,464																		

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる
小 事 業	小学校教育用コンピューター関係費				
事 業 名	情報教育環境整備事業（小学校）				
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。 市内小学校の教育用コンピューター及び周辺機器の更新及び賃貸借（購入又はリース）				
取 組 実 績	小学校教育用コンピューター整備状況				
	整備年度		整備内容		
	H19	石巻地区19校：普通教室及びP C教室に計350台整備 雄勝地区3校：普通教室及びP C教室に計29台整備 河南地区1校：普通教室及びP C教室に計15台整備 北上地区2校：普通教室及びP C教室に計18台整備			
	H21	河北地区5校：普通教室及びP C教室に計86台整備 桃生地区3校：普通教室及びP C教室に計56台整備			
	H22	河南地区6校：普通教室及びP C教室に計127台整備 牡鹿地区4校：普通教室及びP C教室に計42台整備			
	※平成20年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。 ※平成21年度については、緊急経済対策事業で実施。				
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童がITの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。</li> <li>・ 情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。</li> <li>・ 各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。</li> </ul>				
成果に係る評価	<p>市内小学校の教育用コンピューターについては、文部科学省の整備基準（児童3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、本市の現状に促した有効的な整備内容を考察しながら、計画的に整備する。</p> <p>近年は購入による整備が進んでいることから、機器整備後の維持補修負荷が増大しており、今後の機器方法等を検討し、事務効率の向上を図りたい。</p>				
（単位：円）					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	28,573,904	27,499,587			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																			
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																			
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																			
小 事 業	小学校教育振興援助費																							
事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（小学校）																							
目的及び事業内容	<p>経済的な事情により就学が困難な児童の保護者に対し就学費の助成を行うとともに、特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し就学奨励費の助成を行うことにより、教育機会の均等な提供に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助費の助成</li> <li>・特別支援教育就学奨励費の助成</li> </ul>																							
取 組 実 績	1 就学援助費 助成	認定者数 979名	<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>12,192,365 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>1,875,052 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>466,267 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>2,845,700 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>3,643,019 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>40,152,578 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>1,584,840 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>62,759,821 円</td></tr> </table>			学用品費	12,192,365 円	校外活動費（泊無し）	1,875,052 円	校外活動費（泊付き）	466,267 円	通学費	0 円	新入学用品費	2,845,700 円	修学旅行費	3,643,019 円	給食費	40,152,578 円	医療費	1,584,840 円	計	62,759,821 円	
	学用品費	12,192,365 円																						
校外活動費（泊無し）	1,875,052 円																							
校外活動費（泊付き）	466,267 円																							
通学費	0 円																							
新入学用品費	2,845,700 円																							
修学旅行費	3,643,019 円																							
給食費	40,152,578 円																							
医療費	1,584,840 円																							
計	62,759,821 円																							
2 特別支援教育就学奨励費 助成	認定者数 92人	<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>530,333 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>50,411 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>19,888 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>250,051 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>69,650 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>110,576 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>1,721,500 円</td></tr> <tr><td>交流学习交通費</td><td>64,685 円</td></tr> <tr><td>ことばの教室</td><td>165,324 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,982,418 円</td></tr> </table>			学用品費	530,333 円	校外活動費（泊無し）	50,411 円	校外活動費（泊付き）	19,888 円	通学費	250,051 円	新入学用品費	69,650 円	修学旅行費	110,576 円	給食費	1,721,500 円	交流学习交通費	64,685 円	ことばの教室	165,324 円	計	2,982,418 円
学用品費	530,333 円																							
校外活動費（泊無し）	50,411 円																							
校外活動費（泊付き）	19,888 円																							
通学費	250,051 円																							
新入学用品費	69,650 円																							
修学旅行費	110,576 円																							
給食費	1,721,500 円																							
交流学习交通費	64,685 円																							
ことばの教室	165,324 円																							
計	2,982,418 円																							
成 果	<p>経済的に就学困難な児童の保護者へ学校で必要となる経費を援助することにより、義務教育を円滑に実施することができた。</p> <p>また、特別支援学級へ通う児童の保護者へ必要な経費を援助することにより、経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図ることができた。</p>																							
成果に係る評価	<p>経済的に就学困難な家庭や、特別支援学級に通級する児童の保護者へ経済的に支援することにより、児童の就学を確保し円滑な義務教育を図ることができることから今後も継続していく必要のある事業である。</p> <p>ただし、経済情勢が厳しいことを踏まえて、今後は認定基準や支給基準についてその状況に応じ柔軟に対応することが必要である。</p>																							
（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																		
	66,143,000	65,774,239	1,419,000			64,355,239																		

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち								
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する								
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる								
小 事 業	小学校図書整備事業費、小学校図書整備事業費（緊急総合経済対策分）												
事 業 名	学校図書整備事業（小学校）〔住民生活〕												
目的及び事業内容	全国的な傾向である小学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成19年度から平成23年度まで「新学校図書館図書整備5カ年計画」を策定し、整備を推進している。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内小学校の学校図書を整備するもの。平成23年度末には、当面の整備目標である、市内全ての小学校が「学校図書館図書標準」の充足率50%以上となることを目標とし、整備を実施する。												
取 組 実 績	<p>学校図書整備の当面の整備目標である、市内全ての小学校において、学校図書館標準書数に対する充足率50%以上となることを目標とし、低充足率の学校に予算を重点配分したことによる購入のほか、厚意での図書の寄附による整備により学校図書の充実を図った。</p> <p>&lt;小学校図書の整備冊数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,805冊</td> <td>6,438冊</td> <td>9,072冊</td> <td>10,009冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄附・寄贈含む（緊急経済対策事業による購入冊数も含む。）</p>					H19	H20	H21	H22	6,805冊	6,438冊	9,072冊	10,009冊
H19	H20	H21	H22										
6,805冊	6,438冊	9,072冊	10,009冊										
成 果	<p>学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、児童生徒が自ら進んで言葉を学び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。</p> <p>&lt;小学校図書の充足率&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>64.39%</td> <td>66.04%</td> <td>67.54%</td> <td>70.84%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成22年度末での充足率50%の達成校 41校</p> <p>※ 数値は市内小学校の平均である。</p>					H19	H20	H21	H22	64.39%	66.04%	67.54%	70.84%
H19	H20	H21	H22										
64.39%	66.04%	67.54%	70.84%										
成果に係る評価	学校図書を学習活動に積極的に活用し、学習効果の向上を図るには、児童生徒の課題解決に沿った図書が整備充実され、いつでも気軽に利用できるような環境を整えることが必要であり、学校図書整備はその基本となる事業である。												
予算の執行状況	（単位：円）												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源							
17,000,000	11,778,494	3,214,941		1,335,000	7,228,553								

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	石巻小学校耐震補強事業費																																																									
事 業 名	石巻小学校校舎地震補強事業																																																									
目的及び事業内容	<p>本校舎は、平成16年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計及び改築設計を踏まえながら、平成21年度に耐震補強工事、平成21～22年度に校舎一部（東棟）の改築工事を実施する。</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む。）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成26年度までの7年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本校舎は、平成16年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.20～0.23）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計及び改築設計、平成21年度に耐震補強工事、平成21～22年度に校舎一部（東棟）の改築工事を実施した。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成23年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="3"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> <th rowspan="2">基準値以上</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>14箇所</td> <td>11箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>16箇所</td> <td>16箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>30箇所</td> <td>27箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～25</td> <td>8箇所</td> <td>15箇所</td> <td>23箇所</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6箇所</td> <td>1箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14箇所</td> <td>16箇所</td> <td>30箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下		基準値以上	未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H23～25	8箇所	15箇所	23箇所	H26	6箇所	1箇所	7箇所	計	14箇所	16箇所	30箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																		
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																						
		基準値以下							基準値以上																																																	
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H23～25	8箇所	15箇所	23箇所																																																							
H26	6箇所	1箇所	7箇所																																																							
計	14箇所	16箇所	30箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本校舎は、平成16年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.20～0.23）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計及び改築設計、平成21年度に耐震補強工事、平成21～22年度に校舎一部（東棟）の改築工事を実施した。</p>																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
	168,380,000	168,379,587	57,449,000	105,300,000		5,630,587																																																				

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	住吉小学校屋内運動場耐震補強事業費																																																									
事 業 名	住吉小学校屋内運動場地震補強事業〔公共〕																																																									
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む。）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成26年度までの7年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.27）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成23年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="3"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> <th rowspan="2">基準値以上</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>14箇所</td> <td>11箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>16箇所</td> <td>16箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>30箇所</td> <td>27箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～25</td> <td>8箇所</td> <td>15箇所</td> <td>23箇所</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6箇所</td> <td>1箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14箇所</td> <td>16箇所</td> <td>30箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下		基準値以上	未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H23～25	8箇所	15箇所	23箇所	H26	6箇所	1箇所	7箇所	計	14箇所	16箇所	30箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																		
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																						
		基準値以下							基準値以上																																																	
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H23～25	8箇所	15箇所	23箇所																																																							
H26	6箇所	1箇所	7箇所																																																							
計	14箇所	16箇所	30箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.27）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
	8,500,000	5,489,400	5,489,000		400																																																					



予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる

小 事 業 大街道小学校屋内運動場耐震補強事業費

事 業 名 大街道小学校屋内運動場地震補強事業 [公共]

目的及び事業内容 本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.7未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。  
また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。

取 組 実 績

1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定  
 (1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む。）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。  
 (2) 主な計画内容  
 ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成26年度までの7年間で完了することを目標とする。  
 イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。  
 ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。

2 耐力度調査・耐震診断の実施  
 本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.7未満（診断結果： I S 値0.47）で、耐震補強を要する判定となった。

3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施  
 平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。

成 果

1 耐震化状況（平成23年3月31日現在）

区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 未実施施設	耐震診断 対象外施設
		耐震診断実施施設		基準値以上	耐震診断 未実施施設		
		基準値以下					
		未改修施設	改修済施設				
校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所	
屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所	
計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所	

2 事業実施計画（事業完了年度）

実施年度	校・園舎	屋内運動場	計
H23～25	8箇所	15箇所	23箇所
H26	6箇所	1箇所	7箇所
計	14箇所	16箇所	30箇所

成果に係る評価 学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。  
本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされる I S 値0.7未満（診断結果： I S 値0.47）の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	11,000,000	10,274,250	10,274,000		250	

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																							
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																							
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																							
小 事 業	湊第二小学校屋内運動場耐震補強事業費																																																											
事 業 名	湊第二小学校屋内運動場地震補強事業 [公共]																																																											
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成18年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																											
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む。）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成26年度までの7年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成18年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.12）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																											
成 果	<p>1 耐震化状況（平成23年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="2">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>基準値以下</th> <th>基準値以上</th> <th></th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>14箇所</td> <td>11箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>16箇所</td> <td>16箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>30箇所</td> <td>27箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～25</td> <td>8箇所</td> <td>15箇所</td> <td>23箇所</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6箇所</td> <td>1箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14箇所</td> <td>16箇所</td> <td>30箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下	基準値以上		未改修施設	改修済施設			校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H23～25	8箇所	15箇所	23箇所	H26	6箇所	1箇所	7箇所	計	14箇所	16箇所	30箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																				
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																								
		基準値以下	基準値以上																																																									
		未改修施設	改修済施設																																																									
校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																						
屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																						
計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																						
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																									
H23～25	8箇所	15箇所	23箇所																																																									
H26	6箇所	1箇所	7箇所																																																									
計	14箇所	16箇所	30箇所																																																									
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成18年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.12）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																											
予算の執行状況	(単位：円)																																																											
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
	6,240,000	3,346,350	3,346,000		350																																																							

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	蛇田小学校屋内運動場耐震補強事業費																																																									
事 業 名	蛇田小学校屋内運動場地震補強事業〔公共〕																																																									
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む。）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成26年度までの7年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.29）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成23年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="3">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">耐震診断 未実施施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> <th rowspan="2">基準値以上</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>14箇所</td> <td>11箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>16箇所</td> <td>16箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>30箇所</td> <td>27箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～25</td> <td>8箇所</td> <td>15箇所</td> <td>23箇所</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6箇所</td> <td>1箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14箇所</td> <td>16箇所</td> <td>30箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設			耐震診断 未実施施設	基準値以下		基準値以上	未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H23～25	8箇所	15箇所	23箇所	H26	6箇所	1箇所	7箇所	計	14箇所	16箇所	30箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																		
		耐震診断実施施設			耐震診断 未実施施設																																																					
		基準値以下		基準値以上																																																						
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H23～25	8箇所	15箇所	23箇所																																																							
H26	6箇所	1箇所	7箇所																																																							
計	14箇所	16箇所	30箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.29）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
	6,460,000	4,139,100	4,139,000		100																																																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	雄勝小学校屋内運動場耐震補強事業費																																																									
事 業 名	雄勝小学校屋内運動場地震補強事業〔公共〕																																																									
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む。）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成26年度までの7年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.29）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成23年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="3"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> <th rowspan="2">基準値以上</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>14箇所</td> <td>11箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>16箇所</td> <td>16箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>30箇所</td> <td>27箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～25</td> <td>8箇所</td> <td>15箇所</td> <td>23箇所</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6箇所</td> <td>1箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14箇所</td> <td>16箇所</td> <td>30箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下		基準値以上	未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H23～25	8箇所	15箇所	23箇所	H26	6箇所	1箇所	7箇所	計	14箇所	16箇所	30箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																		
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																						
		基準値以下							基準値以上																																																	
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H23～25	8箇所	15箇所	23箇所																																																							
H26	6箇所	1箇所	7箇所																																																							
計	14箇所	16箇所	30箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.29）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
	7,700,000	4,623,150	4,623,000		150																																																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	和渚小学校屋内運動場耐震補強事業費																																																									
事 業 名	和渚小学校屋内運動場地震補強事業〔公共〕																																																									
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む。）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成26年度までの7年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.28）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成23年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">基準値以上</th> <th rowspan="3"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>14箇所</td> <td>11箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>16箇所</td> <td>16箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>30箇所</td> <td>27箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～25</td> <td>8箇所</td> <td>15箇所</td> <td>23箇所</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6箇所</td> <td>1箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14箇所</td> <td>16箇所</td> <td>30箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 未実施施設	耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		基準値以上		基準値以下		未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H23～25	8箇所	15箇所	23箇所	H26	6箇所	1箇所	7箇所	計	14箇所	16箇所	30箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 未実施施設	耐震診断 対象外施設																																																	
		耐震診断実施施設		基準値以上																																																						
		基準値以下																																																								
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H23～25	8箇所	15箇所	23箇所																																																							
H26	6箇所	1箇所	7箇所																																																							
計	14箇所	16箇所	30箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.28）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
	7,070,000	4,969,650	4,969,000		650																																																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	吉浜小学校屋内運動場耐震補強事業費																																																									
事 業 名	吉浜小学校屋内運動場地震補強事業〔公共〕																																																									
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む。）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成26年度までの7年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.11）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成23年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="3"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> <th rowspan="2">基準値以上</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>14箇所</td> <td>11箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>16箇所</td> <td>16箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>30箇所</td> <td>27箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～25</td> <td>8箇所</td> <td>15箇所</td> <td>23箇所</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6箇所</td> <td>1箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14箇所</td> <td>16箇所</td> <td>30箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下		基準値以上	未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H23～25	8箇所	15箇所	23箇所	H26	6箇所	1箇所	7箇所	計	14箇所	16箇所	30箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																		
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																						
		基準値以下							基準値以上																																																	
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H23～25	8箇所	15箇所	23箇所																																																							
H26	6箇所	1箇所	7箇所																																																							
計	14箇所	16箇所	30箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.11）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
	53,090,000	32,322,150	32,322,000		150																																																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	鮎川小学校屋内運動場耐震補強事業費																																																									
事 業 名	鮎川小学校屋内運動場地震補強事業〔公共〕																																																									
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む。）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成26年度までの7年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.25）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成23年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="3"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> <th rowspan="2">基準値以上</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>14箇所</td> <td>11箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>16箇所</td> <td>16箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>30箇所</td> <td>27箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～25</td> <td>8箇所</td> <td>15箇所</td> <td>23箇所</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6箇所</td> <td>1箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14箇所</td> <td>16箇所</td> <td>30箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下		基準値以上	未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H23～25	8箇所	15箇所	23箇所	H26	6箇所	1箇所	7箇所	計	14箇所	16箇所	30箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																		
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																						
		基準値以下							基準値以上																																																	
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H23～25	8箇所	15箇所	23箇所																																																							
H26	6箇所	1箇所	7箇所																																																							
計	14箇所	16箇所	30箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.25）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
14,070,000	13,723,500	13,723,000		500																																																						

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																						
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																						
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																						
小 事 業	中里小学校耐震補強事業費																																																										
事 業 名	中里小学校校舎地震補強事業																																																										
目的及び事業内容	本校舎は、平成15年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされる I S 値0.7未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」の制度を適用し、平成21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成22年度に耐震補強工事を実施する。																																																										
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む。）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成26年度までの7年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本校舎は、平成15年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性があるとされる I S 値0.7未満（診断結果： I S 値0.30～0.48）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成21年度に耐震補強設計、平成22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																										
成 果	<p>1 耐震化状況（平成23年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="3">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">基準値以上</th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> <th rowspan="2">基準値以上</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>14箇所</td> <td>11箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>16箇所</td> <td>16箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>30箇所</td> <td>27箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～25</td> <td>8箇所</td> <td>15箇所</td> <td>23箇所</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6箇所</td> <td>1箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14箇所</td> <td>16箇所</td> <td>30箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 未実施施設	耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設			基準値以上	基準値以下		基準値以上	未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H23～25	8箇所	15箇所	23箇所	H26	6箇所	1箇所	7箇所	計	14箇所	16箇所	30箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 未実施施設	耐震診断 対象外施設																																																		
		耐震診断実施施設			基準値以上																																																						
		基準値以下		基準値以上																																																							
		未改修施設	改修済施設																																																								
校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																					
屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																					
計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																					
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																								
H23～25	8箇所	15箇所	23箇所																																																								
H26	6箇所	1箇所	7箇所																																																								
計	14箇所	16箇所	30箇所																																																								
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本校舎は、平成15年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされる I S 値0.7未満（診断結果： I S 値0.30～0.48）の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」の制度を適用し、平成21年度に耐震補強設計、平成22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																										
予算の執行状況	（単位：円）																																																										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																								
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																					
	54,252,000	54,250,875	48,422,000	5,200,000		628,875																																																					



予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	2 項	小学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	雄勝小学校耐震補強事業費																																																									
事 業 名	雄勝小学校校舎地震補強事業																																																									
目的及び事業内容	<p>本校舎は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされる I S 値0.7未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」の制度を適用し、平成21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成22年度に耐震補強工事を実施する。</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む。）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成26年度までの7年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本校舎は、平成19年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性があるとされる I S 値0.7未満（診断結果： I S 値0.46～0.49）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成21年度に耐震補強設計、平成22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成23年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">基準値以上</th> <th rowspan="3"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>14箇所</td> <td>11箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>16箇所</td> <td>16箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>30箇所</td> <td>27箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～25</td> <td>8箇所</td> <td>15箇所</td> <td>23箇所</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6箇所</td> <td>1箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14箇所</td> <td>16箇所</td> <td>30箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 未実施施設	耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		基準値以上		基準値以下		未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H23～25	8箇所	15箇所	23箇所	H26	6箇所	1箇所	7箇所	計	14箇所	16箇所	30箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 未実施施設	耐震診断 対象外施設																																																	
		耐震診断実施施設		基準値以上																																																						
		基準値以下																																																								
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H23～25	8箇所	15箇所	23箇所																																																							
H26	6箇所	1箇所	7箇所																																																							
計	14箇所	16箇所	30箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本校舎は、平成19年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性があるとされる I S 値0.7未満（診断結果： I S 値0.46～0.49）の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」の制度を適用し、平成21年度に耐震補強設計、平成22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
	48,489,000	48,488,060	31,946,000	16,300,000		242,060																																																				

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																					
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																					
	1 目	学校管理費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																					
小 事 業	中学校管理費（教育総務課）																																									
事 業 名	遠距離通学支援事業（中学校）																																									
目的及び事業内容	<p>遠距離通学の対象となるすべての生徒に対し、公共交通機関やスクールバスの活用を促すことにより、安全且つ安心して通学できる仕組みを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス等の運行</li> <li>・遠距離通学費補助金の交付</li> </ul>																																									
取 組 実 績	<p>遠距離通学の対象者のスクールバス、ボートの活用及び公共交通機関を活用した生徒への、交通費の助成を行なった。</p> <p>1 スクールバス等運行委託料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">スクールバス</td> <td>H21</td> <td>4校</td> <td>82人</td> <td>15,471,601円</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>5校</td> <td>148人</td> <td>32,429,285円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スクールボート</td> <td>H21</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>1,612,000円</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>1校</td> <td>1人</td> <td>1,753,880円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 遠距離通学補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">遠距離通学</td> <td>H21</td> <td>1校</td> <td>9人</td> <td>847,220円</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>1校</td> <td>5人</td> <td>410,000円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	年度	学校数	対象人数	金額	スクールバス	H21	4校	82人	15,471,601円	H22	5校	148人	32,429,285円	スクールボート	H21	1校	1人	1,612,000円	H22	1校	1人	1,753,880円	区分	年度	学校数	対象人数	金額	遠距離通学	H21	1校	9人	847,220円	H22	1校	5人	410,000円
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																						
スクールバス	H21	4校	82人	15,471,601円																																						
	H22	5校	148人	32,429,285円																																						
スクールボート	H21	1校	1人	1,612,000円																																						
	H22	1校	1人	1,753,880円																																						
区分	年度	学校数	対象人数	金額																																						
遠距離通学	H21	1校	9人	847,220円																																						
	H22	1校	5人	410,000円																																						
成 果	<p>学校統廃合などにより遠距離通学となった生徒へスクールバス等の運行や公共交通機関の利用を促すことで、登下校の安全の確保が図られた。</p>																																									
成果に係る評価	<p>遠距離通学生徒の安全・安心を図るため継続が必要な事業であるが、地域の実情を考慮しつつ、適正な運行を模索していく必要がある。</p>																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																				
35,326,000	34,593,165	5,540,000			29,053,165																																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち										
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する										
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ										
小 事 業	中学校保健費														
事 業 名	学校医・薬剤師配置事業（中学校）														
目的及び事業内容	<p>各学校に学校医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、生徒に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医の配置</li> <li>・学校薬剤師の配置</li> </ul>														
取 組 実 績	<p>1 学校医の配置 市立中学校21校に、学校医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や教育相談などの健診業務を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校医の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>歯 科 医</td> <td>21人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 市立中学校21校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱した学校薬剤師の人数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>16人</td> </tr> </table>					内 科 医	20人	眼 科 医	6人	耳 鼻 科 医	6人	歯 科 医	21人	薬 剤 師	16人
内 科 医	20人														
眼 科 医	6人														
耳 鼻 科 医	6人														
歯 科 医	21人														
薬 剤 師	16人														
成 果	<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>2 学校施設における日常点検や定期検査の実施等により、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>														
成果に係る評価	<p>生徒に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。ただ、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の学校医を兼務している実態もあることから、市立病院とも連携を図るなど、学校への医師派遣事業を継続する必要がある。</p>														
予算の執行状況	（単位：円）														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源									
16,651,000	16,302,199	498,000			15,804,199										

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち									
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する									
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ									
小 事 業	中学校保健費													
事 業 名	健康診断・検査等実施事業（中学校）													
目的及び事業内容	<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>													
取 組 実 績	<p>1 生徒の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科検診、結核健診、心臓病検診、尿検査、貧血・脂質検査 定期健康診断については、市内中学校全学年、心臓病健診については、対象学年である1年生に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 中学校各校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行う。</p>													
成 果	<p>定期健康診断を行い、生徒の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し、生徒の健康管理に努めた。また、学校の水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <table border="1"> <tr> <td>1 定期健康診断</td> <td>中学生</td> <td>4,604人</td> </tr> <tr> <td>心臓病検診</td> <td>1年生</td> <td>1,490人</td> </tr> <tr> <td>2 飲料水水質検査</td> <td>中学校</td> <td>21校</td> </tr> </table>					1 定期健康診断	中学生	4,604人	心臓病検診	1年生	1,490人	2 飲料水水質検査	中学校	21校
1 定期健康診断	中学生	4,604人												
心臓病検診	1年生	1,490人												
2 飲料水水質検査	中学校	21校												
成果に係る評価	<p>生徒の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方について、検討していく必要がある。</p>													
予算の執行状況	(単位：円)													
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源								
7,529,000	6,556,241	62,000			6,494,241									

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち								
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する								
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ								
小 事 業		特別支援教育共同実習所費											
事 業 名		特別支援教育共同実習事業											
目的及び事業内容		<p>障害のある生徒が、共同実習を通して協調性や自発性、忍耐力などを養い、社会人として自立できる素地を養う。</p> <p>・共同実習の実施</p>											
取 組 実 績		<p>1 全中学校に拡大し、2つのグループに分け、それぞれ週2回の実習を実施した。 Aグループ（火・木曜日）、Bグループ（水・金曜日）</p> <p>2 主な実習内容 ブロック制作、縫装、菜園、陶芸、情報技術演習、紙工実習、職場見学、宿泊的行事等</p>											
成 果		<p>市内全中学校からの受け入れによって集団での活動が可能となり、互いに支援しあう立場になることで個々の生徒の協調性や社会性が身に付いたほか、自己有用感や自立心が育成された。また、生徒一人一人の能力に応じた将来の職業生活の基盤となる知識・技能・態度を身に付けさせることができた。</p> <p>さらに、特別支援教育担当者の情報交換を通して、各学校での個別指導の充実に役立てることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受け入れ人数 (うち旧町)</td> <td>47人 (16人)</td> <td>38人 (13人)</td> <td>40人 (13人)</td> </tr> </tbody> </table>				主な指標項目	H20	H21	H22	受け入れ人数 (うち旧町)	47人 (16人)	38人 (13人)	40人 (13人)
主な指標項目	H20	H21	H22										
受け入れ人数 (うち旧町)	47人 (16人)	38人 (13人)	40人 (13人)										
成果に係る評価		<p>平成20年度から受け入れ対象を市内全中学校に拡大し、生徒の自立支援、交流及び教員の情報交換等に成果を上げていることから、今後も継続して推進していく必要がある。施設の建設候補地に関しては、全市の各地域から通所する際の利便性や他校生徒等との交流、緊急時の対応などを考慮して、施設の新築移転について早急な対応が必要である。（平成19年12月、河北中学校敷地内への新築移転が適当との特別支援教育共同実習所検討協議会から答申を受けている。）</p>											
(単位：円)													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
	10,378,425	10,132,047				10,132,047							

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち								
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する								
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる								
小 事 業	中学校教育用コンピューター関係費												
事 業 名	情報教育環境整備事業（中学校）												
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。 市内中学校の教育用コンピューター及び周辺機器の更新及び賃貸借（購入又はリース）												
取 組 実 績	<p>中学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備年度</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>石巻地区3校：普通教室及びPC教室に計158台整備 雄勝地区2校：普通教室及びPC教室に計62台整備 北上地区1校：普通教室及びPC教室に計45台整備</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>河北地区3校：普通教室及びPC教室に計90台整備 桃生地区1校：普通教室及びPC教室に計42台整備</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>河南地区2校：普通教室及びPC教室に計90台整備 牡鹿地区1校：普通教室及びPC教室に計44台整備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成20年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。 ※平成21年度については、緊急経済対策事業で実施。</p>					整備年度	整備内容	H19	石巻地区3校：普通教室及びPC教室に計158台整備 雄勝地区2校：普通教室及びPC教室に計62台整備 北上地区1校：普通教室及びPC教室に計45台整備	H21	河北地区3校：普通教室及びPC教室に計90台整備 桃生地区1校：普通教室及びPC教室に計42台整備	H22	河南地区2校：普通教室及びPC教室に計90台整備 牡鹿地区1校：普通教室及びPC教室に計44台整備
整備年度	整備内容												
H19	石巻地区3校：普通教室及びPC教室に計158台整備 雄勝地区2校：普通教室及びPC教室に計62台整備 北上地区1校：普通教室及びPC教室に計45台整備												
H21	河北地区3校：普通教室及びPC教室に計90台整備 桃生地区1校：普通教室及びPC教室に計42台整備												
H22	河南地区2校：普通教室及びPC教室に計90台整備 牡鹿地区1校：普通教室及びPC教室に計44台整備												
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒がITの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。</li> <li>情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。</li> <li>各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。</li> </ul>												
成果に係る評価	<p>市内中学校の教育用コンピューターについては、文部科学省の整備基準（生徒3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、本市の現状に促した有効的な整備内容を考察しながら、計画的に整備する。</p> <p>近年は購入による整備が進んでいることから、機器整備後の維持補修負荷が増大しており、今後の機器方法等を検討し、事務効率の向上を図りたい。</p>												
（単位：円）													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
	35,102,092	34,855,447				34,855,447							

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち														
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する														
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる														
小 事 業	中学校教育振興援助費																		
事 業 名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）																		
目的及び事業内容	<p>経済的な事情により就学が困難な生徒の保護者に対し就学費の助成を行うとともに、特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し就学奨励費の助成を行うことにより、教育機会の均等な提供に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助費の助成</li> <li>・特別支援教育就学奨励費の助成</li> </ul>																		
取 組 実 績	1	就学援助費 助 成	認定者数	693名															
			<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>15,573,155 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>318,322 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>511,891 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>4,809,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>13,946,995 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>32,044,519 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>996,500 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>68,200,382 円</td></tr> </table>		学用品費	15,573,155 円	校外活動費（泊無し）	318,322 円	校外活動費（泊付き）	511,891 円	通学費	0 円	新入学用品費	4,809,000 円	修学旅行費	13,946,995 円	給食費	32,044,519 円	医療費
学用品費	15,573,155 円																		
校外活動費（泊無し）	318,322 円																		
校外活動費（泊付き）	511,891 円																		
通学費	0 円																		
新入学用品費	4,809,000 円																		
修学旅行費	13,946,995 円																		
給食費	32,044,519 円																		
医療費	996,500 円																		
計	68,200,382 円																		
2	特別支援教育就学奨励費 助 成	認定者数	42人																
		<table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>284,180 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊無し）</td><td>6,209 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（泊付き）</td><td>14,858 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>80,141 円</td></tr> <tr><td>新入学用品費</td><td>114,500 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>204,832 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>592,786 円</td></tr> <tr><td>交流学习/職場実習交通費</td><td>4,979,510 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>6,277,016 円</td></tr> </table>		学用品費	284,180 円	校外活動費（泊無し）	6,209 円	校外活動費（泊付き）	14,858 円	通学費	80,141 円	新入学用品費	114,500 円	修学旅行費	204,832 円	給食費	592,786 円	交流学习/職場実習交通費	4,979,510 円
学用品費	284,180 円																		
校外活動費（泊無し）	6,209 円																		
校外活動費（泊付き）	14,858 円																		
通学費	80,141 円																		
新入学用品費	114,500 円																		
修学旅行費	204,832 円																		
給食費	592,786 円																		
交流学习/職場実習交通費	4,979,510 円																		
計	6,277,016 円																		
成 果	<p>経済的に就学困難な生徒の保護者へ学校で必要となる経費を援助することにより、義務教育を円滑に実施することができた。</p> <p>また、特別支援学級へ通う生徒の保護者へ必要な経費を援助することにより、経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図ることができた。</p>																		
成果に係る評価	<p>経済的に就学困難な家庭や、特別支援学級に通級する生徒の保護者へ経済的に支援することにより、生徒の就学を確保し円滑な義務教育を図ることができることから今後も継続していく必要のある事業である。</p> <p>ただし、経済情勢が厳しいことを踏まえて、今後は認定基準や支給基準についてその状況に応じ柔軟に対応することが必要である。</p>																		
（単位：円）																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源													
	77,745,000	74,491,398	2,814,000			71,677,398													

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち								
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する								
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる								
小 事 業	中学校図書整備事業費、中学校図書整備事業費（緊急総合経済対策分）												
事 業 名	学校図書整備事業（中学校）〔住民生活〕												
目的及び事業内容	全国的な傾向である中学生の読書離れが進む中、文部科学省では子どもの読書活動の推進や学校教育における言語力の涵養に資するためには、学校図書館の充実が必要であるとの認識に基づき、平成19年度から平成23年度まで「新学校図書館図書整備5カ年計画」を策定し、整備を推進している。本市も学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るために、市内中学校の学校図書を整備するもの。平成24年度末には、当面の整備目標である、市内全ての中学校が「学校図書館図書標準」の充足率50%以上となることを目標とし、整備を実施する。												
取 組 実 績	<p>学校図書整備の当面の整備目標である、市内全ての中学校において、学校図書館標準書数に対する充足率50%以上となることを目標とし、低充足率の学校に予算を重点配分したことによる購入のほか、厚意での図書の寄附による整備により学校図書の充実を図った。</p> <p>&lt;中学校図書の整備冊数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,829冊</td> <td>3,527冊</td> <td>7,720冊</td> <td>10,576冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 寄附・寄贈含む（緊急経済対策事業による購入冊数も含む。）</p>					H19	H20	H21	H22	3,829冊	3,527冊	7,720冊	10,576冊
H19	H20	H21	H22										
3,829冊	3,527冊	7,720冊	10,576冊										
成 果	<p>学校図書の整備充実を図り、学習活動に積極的に活用することにより学習効果が図られ、児童生徒が自ら進んで言葉を学び、感性・表現力・創造力等の生きる力がより育成された。</p> <p>&lt;中学校図書の充足率&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52.68%</td> <td>55.83%</td> <td>59.56%</td> <td>68.22%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成22年度末での充足率50%の達成校 16校</p> <p>※ 数値は市内中学校の平均である。</p>					H19	H20	H21	H22	52.68%	55.83%	59.56%	68.22%
H19	H20	H21	H22										
52.68%	55.83%	59.56%	68.22%										
成果に係る評価	学校図書を学習活動に積極的に活用し、学習効果の向上を図るには、児童生徒の課題解決に沿った図書が整備充実され、いつでも気軽に利用できるような環境を整えることが必要であり、学校図書整備はその基本となる事業である。												
予算の執行状況	（単位：円）												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源							
25,100,000	14,741,898	5,581,151		1,490,000	7,670,747								



予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる
小 事 業	牡鹿中学校大規模改造事業費				
事 業 名	牡鹿中学校校舎大規模改造事業				
目的及び事業内容	本校舎は、老朽化により機能低下した施設の機能復旧、牡鹿地区3中学校の統合に伴い不足する施設の整備を行うため、平成17年度から「電源立地交付金」の制度を適用し、基金の造成を進めており、平成21年度の実施設計を踏まえながら、平成22年度に既存校舎の大規模改造工事及び特別教室（技術室・家庭科室）の増築工事を実施する。				
取 組 実 績	1 牡鹿中学校校舎改修事業基金造成 平成17年度から老朽化した牡鹿中学校校舎の大規模改造を目的として、「電源立地交付金」の制度を適用し、基金造成を進めてきた。				
	2 実施設計・大規模改造工事（増築工事含む。）の実施				
	(1) 平成21年度に実施設計、平成22年度に既存校舎の大規模改造工事及び特別教室棟の増築工事を実施した。				
	(2) 主な工事内容				
	建設工事	防水工事、屋上・樋工事、塗装工事、内外装工事など			
電気設備工事	受変電設備工事、幹線・動力設備工事など				
機械設備工事	給水設備工事（給水管更生・受水槽改修・高置水槽改修）、衛生器具設備工事（トイレのバリアフリー化）、暖房設備工事、撤去工事（浄化槽解体・オイルタンク解体）など				
特別教室棟増築工事	技術室、家庭科室、準備室				
その他付帯工事					
成 果	本校舎の大規模改造工事及び増築工事の実施により、老朽化施設の機能復旧、牡鹿地区3中学校の統合に伴い不足する施設の整備が図られる。				
成果に係る評価	学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。 本校舎は、老朽化による既存校舎の機能復旧及び不足する施設の整備を目的とし、平成17年度から「電源立地交付金」の基金造成を進めており、平成21年度の実施設計を踏まえながら、平成22年度に既存校舎の大規模改造工事及び特別教室棟の増築工事を実施した。				
予算の執行状況	(単位：円)				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
175,439,000	175,438,391		1,800,000	173,314,579	323,812

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる

小 事 業	門脇中学校屋内運動場改築事業費
-------	-----------------

事 業 名	門脇中学校屋内運動場改築事業
-------	----------------

目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、昭和39年度に建築されたものであり、老朽化による機能低下が著しく、中学校体育施設として狭隘で設備面も不足しており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、「公立学校施設整備費負担金」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成19年度の基本設計、平成20年度の耐力度調査及び実施設計の結果を踏まえながら、平成21～22年度に改築工事を実施する。なお、耐力度調査の結果は、耐力度点数が基準値を下回り、危険建物として判定されている。</p> <p>〔設計概要〕 構造：R造2階建て（1階：武道場、2階：アリーナ）、面積：1,565㎡</p>
----------	--

取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む。）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成26年度までの7年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成20年度に老朽化等による建替を前提として、耐力度調査を実施し、その結果、基準値4,500点を下回り（調査結果：耐力度2,440点）、危険建物として改築を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>
---------	--

成 果	1 耐震化状況（平成23年3月31日現在）	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">基準値以上</th> <th rowspan="3"></th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>14箇所</td> <td>11箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>16箇所</td> <td>16箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>30箇所</td> <td>27箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table>						区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 未実施施設	耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		基準値以上		基準値以下		未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所
	区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 未実施施設			耐震診断 対象外施設																																		
			耐震診断実施施設		基準値以上																																							
基準値以下																																												
未改修施設			改修済施設																																									
校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																						
屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																						
計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																						
2 事業実施計画（事業完了年度）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～25</td> <td>8箇所</td> <td>15箇所</td> <td>23箇所</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6箇所</td> <td>1箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14箇所</td> <td>16箇所</td> <td>30箇所</td> </tr> </tbody> </table>						実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H23～25	8箇所	15箇所	23箇所	H26	6箇所	1箇所	7箇所	計	14箇所	16箇所	30箇所																						
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																									
H23～25	8箇所	15箇所	23箇所																																									
H26	6箇所	1箇所	7箇所																																									
計	14箇所	16箇所	30箇所																																									
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、老朽化による機能低下が著しく、中学校体育施設として狭隘で設備面も不足しており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、「公立学校施設整備費負担金」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成19年度に基本設計、平成20年度に耐力度調査及び実施設計、平成21～22年度に改築工事を実施した。</p>																																											

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	481,152,942	438,935,708	136,049,000	287,600,000	5,678,000	9,608,708

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																							
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																							
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																							
小 事 業	荻浜中学校耐震補強事業費																																																											
事 業 名	荻浜中学校校舎地震補強事業〔公共〕																																																											
目的及び事業内容	<p>本校舎は、平成16年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																											
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む。）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成26年度までの7年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本校舎は、平成16年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.14）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																											
成 果	<p>1 耐震化状況（平成23年3月31日現在）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="2">耐震診断 未実施施設</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>基準値以下</th> <th>基準値以上</th> <th></th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>14箇所</td> <td>11箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>16箇所</td> <td>16箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>30箇所</td> <td>27箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～25</td> <td>8箇所</td> <td>15箇所</td> <td>23箇所</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6箇所</td> <td>1箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14箇所</td> <td>16箇所</td> <td>30箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設		基準値以下	基準値以上		未改修施設	改修済施設			校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H23～25	8箇所	15箇所	23箇所	H26	6箇所	1箇所	7箇所	計	14箇所	16箇所	30箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																				
		耐震診断実施施設		耐震診断 未実施施設																																																								
		基準値以下	基準値以上																																																									
		未改修施設	改修済施設																																																									
校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																						
屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																						
計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																						
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																									
H23～25	8箇所	15箇所	23箇所																																																									
H26	6箇所	1箇所	7箇所																																																									
計	14箇所	16箇所	30箇所																																																									
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本校舎は、平成16年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.14）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																											
（単位：円）																																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																						
	84,940,000	59,349,150	59,272,000		77,150																																																							

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																					
	3 項	中学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																																																					
	3 目	学校建設費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる																																																					
小 事 業	飯野川中学校屋内運動場耐震補強事業費																																																									
事 業 名	飯野川中学校屋内運動場地震補強事業 [公共]																																																									
目的及び事業内容	<p>本屋内運動場は、平成16年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満の施設であり、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、「安全安心な学校づくり交付金」、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に実施した耐震補強設計を踏まえながら、平成21～22年度に耐震補強工事を実施する。</p> <p>また、建築非構造部材の天井材や照明器具の落下、ガラスの飛散等の防止対策（修繕工事）を実施する。</p>																																																									
取 組 実 績	<p>1 石巻市立学校施設耐震化整備計画の策定</p> <p>(1) 平成20年12月に市立学校施設（幼稚園含む。）の耐震化について、全体の事業量を把握するとともに具体的な目標と期間を設定し、着実かつ計画的に推進することを目的として、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」を策定し、平成21年1月に市ホームページにて公表した。</p> <p>(2) 主な計画内容</p> <p>ア 耐震補強を要する47施設（20校舎・27屋内運動場）の耐震化について、平成20年度から平成26年度までの7年間で完了することを目標とする。</p> <p>イ 耐震化事業は、基本的に耐震性能の低い施設を優先し整備する。</p> <p>ウ 耐震化事業の手法は、建替方式ではなく、耐震補強工事を中心に進める。</p> <p>2 耐力度調査・耐震診断の実施</p> <p>本屋内運動場は、平成16年度に耐震診断を実施し、その結果、大規模な地震で倒壊等の危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.15）で、耐震補強を要する判定となった。</p> <p>3 耐震補強設計・耐震補強工事の実施</p> <p>平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
成 果	<p>1 耐震化状況（平成23年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">区分</th> <th rowspan="4">全施設</th> <th colspan="4">耐震診断対象施設</th> <th rowspan="4">耐震診断 対象外施設</th> </tr> <tr> <th colspan="3">耐震診断実施施設</th> <th rowspan="3">耐震診断 未実施施設</th> </tr> <tr> <th colspan="2">基準値以下</th> <th rowspan="2">基準値以上</th> </tr> <tr> <th>未改修施設</th> <th>改修済施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校・園舎</td> <td>71箇所</td> <td>14箇所</td> <td>11箇所</td> <td>17箇所</td> <td>0箇所</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>屋内運動場</td> <td>65箇所</td> <td>16箇所</td> <td>16箇所</td> <td>6箇所</td> <td>0箇所</td> <td>27箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>136箇所</td> <td>30箇所</td> <td>27箇所</td> <td>23箇所</td> <td>0箇所</td> <td>56箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 事業実施計画（事業完了年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>校・園舎</th> <th>屋内運動場</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23～25</td> <td>8箇所</td> <td>15箇所</td> <td>23箇所</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>6箇所</td> <td>1箇所</td> <td>7箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14箇所</td> <td>16箇所</td> <td>30箇所</td> </tr> </tbody> </table>					区分	全施設	耐震診断対象施設				耐震診断 対象外施設	耐震診断実施施設			耐震診断 未実施施設	基準値以下		基準値以上	未改修施設	改修済施設	校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所	屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所	計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所	実施年度	校・園舎	屋内運動場	計	H23～25	8箇所	15箇所	23箇所	H26	6箇所	1箇所	7箇所	計	14箇所	16箇所	30箇所
区分	全施設	耐震診断対象施設						耐震診断 対象外施設																																																		
		耐震診断実施施設			耐震診断 未実施施設																																																					
		基準値以下		基準値以上																																																						
		未改修施設	改修済施設																																																							
校・園舎	71箇所	14箇所	11箇所	17箇所	0箇所	29箇所																																																				
屋内運動場	65箇所	16箇所	16箇所	6箇所	0箇所	27箇所																																																				
計	136箇所	30箇所	27箇所	23箇所	0箇所	56箇所																																																				
実施年度	校・園舎	屋内運動場	計																																																							
H23～25	8箇所	15箇所	23箇所																																																							
H26	6箇所	1箇所	7箇所																																																							
計	14箇所	16箇所	30箇所																																																							
成果に係る評価	<p>学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、地域住民にとっては学習・文化・スポーツなどに利用されている公共施設として、また、災害発生時の避難場所として重要な役割を担っており、「石巻市立学校施設耐震化整備計画」に基づき、学校施設の耐震化を着実かつ計画的に整備し、児童生徒の安全を守り、良好な教育環境の確保を図るとともに地域住民の安全と安心を確保していく必要がある。</p> <p>本屋内運動場は、平成16年度に実施した耐震診断の結果、大規模な地震により倒壊又は崩壊する危険性が高いとされる I S 値0.3未満（診断結果： I S 値0.15）の施設であり、平成20年6月に改正された「地震防災特別措置法」（平成22年度までの時限立法）及び平成21年度に制定された「地域活性化・公共投資臨時交付金」の制度を適用し、平成20～21年度に耐震補強設計、平成21～22年度に耐震補強工事を実施した。</p>																																																									
予算の執行状況	(単位：円)																																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
	11,900,000	8,265,600	8,265,000		600																																																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち										
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する										
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ										
小 事 業	高等学校保健費														
事 業 名	学校医・薬剤師配置事業（高等学校）														
目的及び事業内容	各学校に学校医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、生徒に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・学校医の配置 ・学校薬剤師の配置														
取 組 実 績	<p>1 学校医の配置 市立高等学校2校に、学校医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や教育相談などの健診業務を実施</p> <p>・委嘱した学校医の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>歯 科 医</td> <td>4人</td> </tr> </table> <p>2 学校薬剤師の配置 市立高等学校2校に、学校薬剤師を委嘱し、飲料水及びプール水質の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <p>・委嘱した学校薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>2人</td> </tr> </table>					内 科 医	3人	眼 科 医	2人	耳 鼻 科 医	2人	歯 科 医	4人	薬 剤 師	2人
内 科 医	3人														
眼 科 医	2人														
耳 鼻 科 医	2人														
歯 科 医	4人														
薬 剤 師	2人														
成 果	<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、学校に対して的確な指導と助言が行われ、生徒の健全育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>2 学校施設における日常点検や定期検査の実施等により、学校内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された学校環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>														
成果に係る評価	生徒に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。ただ、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の学校医を兼務している実態もあることから、市立病院とも連携を図るなど、学校への医師派遣事業を継続する必要がある。														
予算の執行状況	（単位：円）														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源									
2,431,000	2,314,640				2,314,640										

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	1 目	学校管理費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ
小 事 業	高等学校保健費				
事 業 名	健康診断・検査等実施事業（高等学校）				
目的及び事業内容	<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、生徒の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>				
取 組 実 績	<p>1 生徒の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科検診、結核健診、心臓病検診、尿検査 定期健康診断については、市内高等学校全学年、心臓病健診については、対象学年である1年生に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 高等学校各校の上水道を飲料水とするため、年1回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>				
成 果	<p>定期健康診断を行い、生徒の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し、生徒の健康管理に努めた。 また、学校の水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <p>1 定期健康診断      高校生   934人 心臓病検診          1年生   305人</p> <p>2 飲料水水質検査      高等学校   2校</p>				
成果に係る評価	<p>生徒の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。 近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方について、検討していく必要がある。</p>				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	1,462,000	1,190,318			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち						
	4 項	高等学校費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する						
	2 目	教育振興費		( 3 )	充実した教育を行える環境をつくる						
小 事 業	高等学校教育用コンピューター関係費										
事 業 名	情報教育環境整備事業（高等学校）										
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備する。 市内高等学校の教育用コンピューター及び周辺機器の更新及び賃貸借（購入又はリース）										
取 組 実 績	<p>高等学校教育用コンピューター整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備年度</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>石巻市立女子高等学校：PC教室及び普通教室に計58台整備</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>石巻市立女子商業高等学校：PC教室及び普通教室に計147台整備</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成20～22年度については、以前に更新したリース料金等の支払いのみ。</p>					整備年度	整備内容	H17	石巻市立女子高等学校：PC教室及び普通教室に計58台整備	H19	石巻市立女子商業高等学校：PC教室及び普通教室に計147台整備
整備年度	整備内容										
H17	石巻市立女子高等学校：PC教室及び普通教室に計58台整備										
H19	石巻市立女子商業高等学校：PC教室及び普通教室に計147台整備										
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒がITの活用方法に慣れ親しみ、習熟して、主体的に活用できるよう情報活用能力の育成が図られた。</li> <li>情報社会に参画する態度が育成され、情報モラル教育の推進が図られた。</li> <li>各教科等においてデジタルコンテンツを活用し、分かりやすい授業を実現できた。</li> </ul>										
成果に係る評価	<p>小中学校に先立ち、専門課程対応を含め情報教育環境の整備充実に努めてきた。 市内高等学校の教育用コンピューターについては、文部科学省の整備基準（生徒3.6人に1台、普通教室・特別教室に校内LANの設置）を定めているが、各市立高等学校の特色を活かしながら整備を図る。 機器整備後の維持補修負荷が増大しており、今後の管理方法等を検討し、事務効率の向上を図りたい。</p>										
予算の執行状況	（単位：円）										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳								
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源					
4,704,000	4,597,630				4,597,630						

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち										
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する										
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ										
小 事 業		幼稚園保健費													
事 業 名		学校医・薬剤師配置事業（幼稚園）													
目的及び事業内容		各幼稚園に幼稚園医等を配置し定期健診、健康相談及び衛生点検等を実施することにより、幼児に係る疾病の早期発見に努めるとともに予防指導の強化を図る。 ・幼稚園医の配置 ・幼稚園薬剤師の配置													
取 組 実 績		<p>1 幼稚園医の配置 市立幼稚園5園に、幼稚園医を委嘱（内科、眼科、耳鼻科、歯科）し、定期健康診断や教育相談などの健診業務を実施</p> <p>・委嘱した幼稚園医の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>内 科 医</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>眼 科 医</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>耳 鼻 科 医</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>歯 科 医</td> <td>4人</td> </tr> </table> <p>2 幼稚園薬剤師の配置 市立幼稚園5園に、薬剤師を委嘱し、飲料水の検査、教室の明るさ、空気の汚れ具合などの検査を実施</p> <p>・委嘱した幼稚園薬剤師の人数</p> <table border="1"> <tr> <td>薬 剤 師</td> <td>2人</td> </tr> </table>				内 科 医	3人	眼 科 医	2人	耳 鼻 科 医	2人	歯 科 医	4人	薬 剤 師	2人
内 科 医	3人														
眼 科 医	2人														
耳 鼻 科 医	2人														
歯 科 医	4人														
薬 剤 師	2人														
成 果		<p>1 定期健康診断等の結果に基づき、保護者、幼稚園に対して的確な指導と助言が行われ、幼児の健全育成や健康の保持増進が図られた。</p> <p>2 幼稚園施設における日常点検や定期検査の実施等により、幼稚園内の環境衛生の実態を把握し、基準に示された施設内環境の維持や、必要に応じた対策を講じることができた。</p>													
成果に係る評価		<p>幼児に対して的確な予防指導を行っていくうえで重要な事業であり、今後も続けていく必要がある。ただ、眼科、耳鼻科などの医師不足が深刻化しており、一人の医師が複数の幼稚園医を兼務している実態もあることから、市立病院とも連携を図るなどを行ない、幼稚園への医師派遣事業を継続する必要がある。</p>													
（単位：円）															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源									
	2,702,000	2,680,760				2,680,760									



予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ
小 事 業	幼稚園保健費				
事 業 名	健康診断・検査等実施事業（幼稚園）				
目的及び事業内容	<p>定期的な健康診断や各種検査を行うことにより、幼児の健康の保持増進を図り、病気等の早期発見に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健康診断の実施</li> <li>・飲料水水質検査の実施</li> </ul>				
取 組 実 績	<p>1 幼児の健康診断検査項目 内科健診、眼科健診、耳鼻科健診、歯科健診、結核健診、尿検査、寄生虫卵検査 定期健康診断及び各種検査については、市内幼稚園園児全員を対象に実施した。</p> <p>2 飲料水水質検査項目 遊離残留塩素、色度・濁度・臭気・味、水素イオン濃度、一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、全有機炭素、鉄 幼稚園各園の上水道を飲料水とするため、年 1 回残留塩素及び大腸菌などの水質検査を行った。</p>				
成 果	<p>定期健康診断を行い、幼児の病気の早期発見、早期治療、生活習慣の改善を促し、幼児の健康管理に努めた。また、幼稚園の水道を飲料水としていることから、水質検査を行うことで、安全な環境の維持を図った。</p> <p>1 定期健康診断                      幼稚園児 290人 2 飲料水水質検査                      幼稚園 5校</p>				
成果に係る評価	<p>幼児の健康を保持・増進していくためには不可欠な事業であり、今後も続けていく必要がある。近年、生活習慣や食生活の乱れなどの理由により、肥満や生活習慣病といった病気の低年齢化が進み、社会的な問題となっていることから、今後は定期健診や各種検査のあり方について、検討していく必要がある。</p>				
予算の執行状況	(単位：円)				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
391,000	282,022				282,022

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																		
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																		
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ																		
小 事 業	私立幼稚園就園奨励費																						
事 業 名	私立幼稚園支援事業（就園奨励費）																						
目的及び事業内容	<p>私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者の中で、所得が低い保護者に対して私立幼稚園が行う入園料、保育料の減免措置に対して助成を行うことにより、義務教育就学前における幼児教育の振興を図る。</p> <p>・私立幼稚園就園奨励費の助成</p>																						
取 組 実 績	<p>市内に居住している園児の入園料・保育料の減免措置を行っている私立幼稚園に対し、一部国の補助を受け補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満3歳児</td> <td>18人</td> <td>1,225,200円</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>203人</td> <td>18,334,700円</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>426人</td> <td>36,563,100円</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>496人</td> <td>41,236,700円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,143人</td> <td>97,359,700円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	対象人数	補助金額	満3歳児	18人	1,225,200円	3歳児	203人	18,334,700円	4歳児	426人	36,563,100円	5歳児	496人	41,236,700円	合計	1,143人	97,359,700円
区分	対象人数	補助金額																					
満3歳児	18人	1,225,200円																					
3歳児	203人	18,334,700円																					
4歳児	426人	36,563,100円																					
5歳児	496人	41,236,700円																					
合計	1,143人	97,359,700円																					
成 果	<p>私立幼稚園が行う、所得が低い入園児の保護者に対する入園料、保育料の減免措置に対して助成することにより、就園する保護者の経済的負担を軽減し、義務教育就学前における幼児教育の振興に資することができた。</p> <p>(補助内訳)</p> <p>就園奨励費補助金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象人数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>1,314人</td> <td>108,300,900円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>1,218人</td> <td>104,191,100円</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>1,143人</td> <td>97,359,700円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	対象人数	補助金額	H20	1,314人	108,300,900円	H21	1,218人	104,191,100円	H22	1,143人	97,359,700円						
区分	対象人数	補助金額																					
H20	1,314人	108,300,900円																					
H21	1,218人	104,191,100円																					
H22	1,143人	97,359,700円																					
成果に係る評価	本市幼児教育の普及充実と保護者の経済的負担を軽減することを目的とした事業であり、私立幼稚園の実情に即した支援に努めていかなければならない。																						
(単位：円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	97,360,000	97,359,700	21,195,000			76,164,700																	

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																								
	5 項	幼稚園費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する																								
	1 目	幼稚園費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ																								
小 事 業	私立幼稚園運営費助成費																												
事 業 名	私立幼稚園支援事業（運営費助成）																												
目的及び事業内容	<p>市内で開園している私立幼稚園の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な経営及び保護者の負担の軽減を図る。</p> <p>・私立幼稚園運営費の助成</p>																												
取 組 実 績	<p>市内で開園している私立幼稚園設置者に対し、運営費の一部の助成を行なった。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日和幼稚園</td> <td>698,800円</td> </tr> <tr> <td>穀町幼稚園</td> <td>818,800円</td> </tr> <tr> <td>法山寺幼稚園</td> <td>668,800円</td> </tr> <tr> <td>石巻カトリック幼稚園</td> <td>776,800円</td> </tr> <tr> <td>石巻みずほ幼稚園</td> <td>785,200円</td> </tr> <tr> <td>石巻みずほ第二幼稚園</td> <td>653,200円</td> </tr> <tr> <td>ひばり幼稚園</td> <td>1,162,000円</td> </tr> <tr> <td>栄光幼稚園</td> <td>421,600円</td> </tr> <tr> <td>長浜幼稚園</td> <td>574,000円</td> </tr> <tr> <td>万石浦幼稚園</td> <td>533,200円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>7,092,400円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	運営費補助金	日和幼稚園	698,800円	穀町幼稚園	818,800円	法山寺幼稚園	668,800円	石巻カトリック幼稚園	776,800円	石巻みずほ幼稚園	785,200円	石巻みずほ第二幼稚園	653,200円	ひばり幼稚園	1,162,000円	栄光幼稚園	421,600円	長浜幼稚園	574,000円	万石浦幼稚園	533,200円	合 計	7,092,400円
区分	運営費補助金																												
日和幼稚園	698,800円																												
穀町幼稚園	818,800円																												
法山寺幼稚園	668,800円																												
石巻カトリック幼稚園	776,800円																												
石巻みずほ幼稚園	785,200円																												
石巻みずほ第二幼稚園	653,200円																												
ひばり幼稚園	1,162,000円																												
栄光幼稚園	421,600円																												
長浜幼稚園	574,000円																												
万石浦幼稚園	533,200円																												
合 計	7,092,400円																												
成 果	<p>義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。</p> <p>(助成内訳)</p> <p>運営費補助金</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> <th>灯油購入費助成金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>7,814,800円</td> <td>974,100円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>7,493,200円</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>7,092,400円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>					区分	運営費補助金	灯油購入費助成金	H20	7,814,800円	974,100円	H21	7,493,200円	—	H22	7,092,400円	—												
区分	運営費補助金	灯油購入費助成金																											
H20	7,814,800円	974,100円																											
H21	7,493,200円	—																											
H22	7,092,400円	—																											
成果に係る評価	<p>本市幼児教育の推進を図ることを目的とした事業であり、私立幼稚園の活動内容や運営の実情に即した支援に努めていかなければならない。</p>																												
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	7,093,000	7,092,400				7,092,400																							

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	市民の主体的な学習活動を支援する
小 事 業		社会教育事務費			
事 業 名		青年文化祭支援事業			
目的及び事業内容		<p>地域青年が文化芸術活動の発表する機会を設けることで、青年活動の活性化を図り、また、地域住民との交流を通して、健全で豊かな地域社会を創造することを目的とする。</p> <p>石巻地区2市1町の青年及び担当職員により、実行委員会を組織し、企画からPR、作品作成・展示等を含めすべて手作りで青年文化祭の事業を実施する。</p>			
取 組 実 績		<p>平成22年度は、本市が開催事務局及び開催地として、11月28日（日）に河北総合センター（ビッグバン）を会場に、石巻地区青年文化祭を「一期一会 人との出会いやふれあいを大切にしたい誰もが楽しめる文化祭」という基本方針のもとに、石巻地区の伝統文化にスポットを当て、次世代につなげるきっかけをつくり、豊かな地域づくりに貢献しようという思いでつくりあげた。</p> <p>当日はスタッフ・出演者・参加者合わせて821人が参加し、本市からは実行委員9人（一般青年）が参加し、文化祭当日まで仕事の合間を縫い、実行委員会を13回開催した。</p>			
成 果		<p>青年活動を支援する事業は数少なく、その意味からも本事業の担う役割は大変大きい。実行委員も継続して携わる者が多く、事業内容も着実に進化し、青年活動の活性化を図ることができた。</p>			
成果に係る評価		<p>宮城県教育委員会主催事業なので方向性の検討の余地はないが、今後の青年文化祭の在り方について県の考え方を聞きながら、青年がこれまで以上に意欲的に取り組むことができる新たな事業等についても2市1町で県に相談していく必要がある。</p>			
（単位：円）					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国（県）支出金	地方債	その他
	75,000	74,019			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																																																																
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する																																																																																
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	青少年を健全に育成する																																																																																
小 事 業	少年指導者育成費																																																																																				
事 業 名	少年指導者育成事業																																																																																				
目的及び事業内容	<p>子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダーの育成を通して、青少年の健全育成を図る。</p> <p>宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中高生）を養成する。受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳及び初級研修修了証を授与する。</p>																																																																																				
取 組 実 績	<p>1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援</p> <p>(1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>初級研修会Ⅰ</td> <td>7月28日(水)～30日(金)</td> <td>県志津川自然の家</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>初級研修会Ⅱ</td> <td>7月30日(金)～8月1日(日)</td> <td>県志津川自然の家</td> <td>24人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ジュニア・リーダー中級研修会及び上級研修会への参加支援</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>中級研修会</td> <td>8月18日(水)～19日(木)</td> <td>県松島自然の家</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>上級研修会</td> <td>12月25日(土)～27日(月)</td> <td>県松島自然の家</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ジュニア・リーダーのスキルアップのための研修事業参加支援及び研修機会の創出</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>実施場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回代表者会議</td> <td>5月30日(日)</td> <td>県青年会館</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>技術研修会(中学生)</td> <td>7月11日(日)</td> <td>県青年会館</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>東北子ども会JL大会</td> <td>8月4日(水)～6日(金)</td> <td>岩手県</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>石巻地区ジュニアフェスタ</td> <td>8月7日(土)</td> <td>東松島市コミュニティセンター</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>みやぎのJL大会</td> <td>9月12日(日)</td> <td>県花山自然の家</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>技術研修会(高校生)</td> <td>10月3日(日)</td> <td>県青年会館</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>技術研修会(全体)</td> <td>10月16日(土)</td> <td>石巻中央公民館</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第2回代表者会議</td> <td>11月28日(日)</td> <td>県青年会館</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>冬季技術研修会</td> <td>1月7日(金)～8日(土)</td> <td>県志津川自然の家</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援</p> <p>市内子ども会育成会等から要請を受けボランティアとして派遣、子どもたちの指導等を行った。</p> <p>団体による申請数：79回 派遣したジュニア・リーダー数(延べ)：332人 会員数：123人</p>					No.	事業名	開催日	実施場所	修了者	1	初級研修会Ⅰ	7月28日(水)～30日(金)	県志津川自然の家	3人	2	初級研修会Ⅱ	7月30日(金)～8月1日(日)	県志津川自然の家	24人	No.	事業名	開催日	実施場所	修了者	1	中級研修会	8月18日(水)～19日(木)	県松島自然の家	25人	2	上級研修会	12月25日(土)～27日(月)	県松島自然の家	2人	No.	事業名	開催日	実施場所	参加者	1	第1回代表者会議	5月30日(日)	県青年会館	2人	2	技術研修会(中学生)	7月11日(日)	県青年会館	8人	3	東北子ども会JL大会	8月4日(水)～6日(金)	岩手県	3人	4	石巻地区ジュニアフェスタ	8月7日(土)	東松島市コミュニティセンター	9人	5	みやぎのJL大会	9月12日(日)	県花山自然の家	7人	6	技術研修会(高校生)	10月3日(日)	県青年会館	6人	7	技術研修会(全体)	10月16日(土)	石巻中央公民館	19人	8	第2回代表者会議	11月28日(日)	県青年会館	4人	9	冬季技術研修会	1月7日(金)～8日(土)	県志津川自然の家	18人
No.	事業名	開催日	実施場所	修了者																																																																																	
1	初級研修会Ⅰ	7月28日(水)～30日(金)	県志津川自然の家	3人																																																																																	
2	初級研修会Ⅱ	7月30日(金)～8月1日(日)	県志津川自然の家	24人																																																																																	
No.	事業名	開催日	実施場所	修了者																																																																																	
1	中級研修会	8月18日(水)～19日(木)	県松島自然の家	25人																																																																																	
2	上級研修会	12月25日(土)～27日(月)	県松島自然の家	2人																																																																																	
No.	事業名	開催日	実施場所	参加者																																																																																	
1	第1回代表者会議	5月30日(日)	県青年会館	2人																																																																																	
2	技術研修会(中学生)	7月11日(日)	県青年会館	8人																																																																																	
3	東北子ども会JL大会	8月4日(水)～6日(金)	岩手県	3人																																																																																	
4	石巻地区ジュニアフェスタ	8月7日(土)	東松島市コミュニティセンター	9人																																																																																	
5	みやぎのJL大会	9月12日(日)	県花山自然の家	7人																																																																																	
6	技術研修会(高校生)	10月3日(日)	県青年会館	6人																																																																																	
7	技術研修会(全体)	10月16日(土)	石巻中央公民館	19人																																																																																	
8	第2回代表者会議	11月28日(日)	県青年会館	4人																																																																																	
9	冬季技術研修会	1月7日(金)～8日(土)	県志津川自然の家	18人																																																																																	
成 果	<p>ジュニア・リーダーの育成、スキルアップ、活動支援を行うことにより、子ども会育成会等の要請に応じたボランティア活動の充実が図られ、子ども会活動の活性化及び充実・改善を支援し、健全育成に資することができた。</p>																																																																																				
成果に係る評価	<p>地域の子ども会活動の支援等のボランティア活動を行う中・高校生のリーダーを育成することにより、子ども会活動等における子どもたちの望ましい活動(遊び等)の充実・活性化を図り、もって青少年の健全育成に資することができる事業である。</p> <p>今後、少年指導者育成事業の質を高め、研修の成果が地域における子ども会活動の活性化に生かされるよう各地域におけるジュニア・リーダーサークル活動のPR・充実・活性化を図る。</p> <p>さらに、子ども会、地域の関係団体等へのはたらきかけにより、ジュニア・リーダーを生かした活動を推進する。</p>																																																																																				
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																															
968,969	561,228				561,228																																																																																

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち																																																																																			
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ																																																																																			
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する																																																																																			
小 事 業	芸術文化振興費																																																																																							
事 業 名	市美術展実施事業																																																																																							
目的及び事業内容	美術を通して、石巻市における芸術文化の向上と市民の教養を高め文化振興を図る。																																																																																							
取 組 実 績	1 開催日 平成22年10月3日（日）～10月11日（月） 2 場所 石巻文化センター 3 主催 石巻市・石巻市教育委員会・財団法人石巻市文化スポーツ振興公社 4 主管 石巻市美術展実行委員会 5 後援 宮城県・宮城県教育委員会・石巻商工会議所・河北新報社・石巻日日新聞社・三陸河北新報社・NHK仙台放送局・TBC東北放送・ミヤギテレビ・仙台放送・KHB東日本放送・ラジオ石巻・石巻市文化協会 6 協賛 石巻金融団・石巻青年会議所・石巻ライオンズクラブ・石巻中央ライオンズクラブ・石巻日和ライオンズクラブ・石巻東ライオンズクラブ・石巻ロータリークラブ・石巻西ロータリークラブ・石巻南ロータリークラブ・石巻東ロータリークラブ・国際ソロプチミスト石巻・国際ソロプチミスト石巻サンファン 7 授賞式 平成22年10月3日（日）午前10時																																																																																							
成 果	<p>日本画、洋画、書、彫刻、陶芸の各部門の公募作品に加え、各部門の先生方による無鑑査作品等を一堂に会して展示し、すぐれた芸術作品の鑑賞する機会を提供することにより、芸術文化の振興と技術の向上に貢献できた。</p> <p>&lt;出品点数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>日本画</th> <th>洋画</th> <th>書</th> <th>彫塑工芸</th> <th>陶芸</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公募</td> <td>25点</td> <td>46点</td> <td>69点</td> <td>2点</td> <td>30点</td> <td>172点</td> </tr> <tr> <td>公募(高校生)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>45点</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>45点</td> </tr> <tr> <td>無鑑査</td> <td>5点</td> <td>5点</td> <td>18点</td> <td>—</td> <td>3点</td> <td>31点</td> </tr> <tr> <td>招待</td> <td>—</td> <td>1点</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1点</td> </tr> <tr> <td>実行委員</td> <td>4点</td> <td>9点</td> <td>12点</td> <td>1点</td> <td>3点</td> <td>29点</td> </tr> <tr> <td>審査員</td> <td>1点</td> <td>1点</td> <td>6点</td> <td>—</td> <td>1点</td> <td>9点</td> </tr> <tr> <td>特別出品</td> <td>—</td> <td>1点</td> <td>1点</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2点</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>35点</td> <td>63点</td> <td>151点</td> <td>3点</td> <td>37点</td> <td>289点</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;観覧者数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>10月3日</th> <th>10月4日</th> <th>10月5日</th> <th>10月6日</th> <th>10月7日</th> <th>10月8日</th> <th>10月9日</th> <th>10月10日</th> <th>10月11日</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>453人</td> <td>122人</td> <td>209人</td> <td>172人</td> <td>154人</td> <td>133人</td> <td>153人</td> <td>146人</td> <td>172人</td> <td>1,714人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	日本画	洋画	書	彫塑工芸	陶芸	計	公募	25点	46点	69点	2点	30点	172点	公募(高校生)	—	—	45点	—	—	45点	無鑑査	5点	5点	18点	—	3点	31点	招待	—	1点	—	—	—	1点	実行委員	4点	9点	12点	1点	3点	29点	審査員	1点	1点	6点	—	1点	9点	特別出品	—	1点	1点	—	—	2点	計	35点	63点	151点	3点	37点	289点	10月3日	10月4日	10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	10月9日	10月10日	10月11日	計	453人	122人	209人	172人	154人	133人	153人	146人	172人	1,714人
区分	日本画	洋画	書	彫塑工芸	陶芸	計																																																																																		
公募	25点	46点	69点	2点	30点	172点																																																																																		
公募(高校生)	—	—	45点	—	—	45点																																																																																		
無鑑査	5点	5点	18点	—	3点	31点																																																																																		
招待	—	1点	—	—	—	1点																																																																																		
実行委員	4点	9点	12点	1点	3点	29点																																																																																		
審査員	1点	1点	6点	—	1点	9点																																																																																		
特別出品	—	1点	1点	—	—	2点																																																																																		
計	35点	63点	151点	3点	37点	289点																																																																																		
10月3日	10月4日	10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	10月9日	10月10日	10月11日	計																																																																															
453人	122人	209人	172人	154人	133人	153人	146人	172人	1,714人																																																																															
成果に係る評価	平成22年度は高校生等の出品料を千円にしたことにより、高校生の出品が増え、出品数・観覧者数とも前年度より増加した。 平成23年度の開催は、歴史文化資料展示施設整備事業による会場等の問題で中止とし、平成24年度に30回記念展の開催を予定していた。 石巻市美術展は、石巻地域最大の公募展であるとともに、石巻地域の芸術文化振興には欠かせない事業であり、同事業は継続して行う必要があるが、今回の震災により、会場としていた文化センターが被災し、会場や運営面での改善を検討する必要がある。																																																																																							
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																		
	360,000	360,000				360,000																																																																																		

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する
小 事 業	芸術文化振興費				
事 業 名	青少年文化芸術鑑賞事業				
目的及び事業内容	芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の青少年に対し、優れた生の芸術を鑑賞してもらい、豊かな情操を涵養する。学校の総合的学習時間等を利用して、優秀な舞台芸術の鑑賞を提供し、感受性豊かな人間としての育成を図るために必要な事業である。				
取 組 実 績	1 巡回小劇場				
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校	
	9月8日	門脇小学校	いちよう座「リーダーズシアター」	門脇小学校	
	9月9日	牡鹿体育館	いちよう座「リーダーズシアター」	鮎川小学校・大原小学校・寄磯小学校・谷川小学校	
	9月10日	橋浦小学校	いちよう座「リーダーズシアター」	橋浦小学校・吉浜小学校・相川小学校	
	2 青少年劇場小公演				
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校	
	9月13日	桃生小学校	馬頭琴とピアノのコンサート	桃生小学校・中津山第一小学校・中津山第二小学校	
	9月14日	鹿又小学校	馬頭琴とピアノのコンサート	鹿又小学校	
	9月14日	飯野川第二小学校	馬頭琴とピアノのコンサート	飯野川第二小学校	
	9月15日	雄勝中学校	馬頭琴とピアノのコンサート	雄勝中学校・大須中学校・雄勝小学校・船越小学校・大須小学校	
	3 子どものための優れた舞台芸術体験事業				
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校	
	10月4日	和渕小学校	スターダンス・バレエ団「シンデレラ」	和渕小学校	
	10月5日	北上中学校	スターダンス・バレエ団「シンデレラ」	北上中学校	
	10月18日	山下中学校	関西二期会「合唱」	山下中学校	
	10月20日	貞山小学校	株式会社舞踏集団菊の会「邦舞」	貞山小学校	
11月10日	北村小学校	劇団新児童「ミュージカル」	北村小学校		
2月2日	総合体育館	オーケストラ札幌交響楽団	山下小学校		
成 果	児童・生徒に対し、優れた生の芸術を鑑賞する機会を提供することにより、豊かな情操を養い豊かな人間形成に寄与した。				
成果に係る評価	巡回小劇場等は、宮城県などが行うもので、市町村が一部の経費を負担するだけで質の高い芸術を小中学生へ提供できるもので、最小の経費で実施できるものであるため、今後とも継続していく。				
予算の執行状況	(単位：円)				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
1,281,000	1,151,850				1,151,850

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち																																		
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ																																		
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する																																		
小 事 業	芸術文化振興費																																						
事 業 名	文化芸術団体育成事業																																						
目的及び事業内容	地域の芸術文化の発展を助長するとともにその活動を通じて、地域文化の振興と向上に寄与する。芸術文化の推進には、市民団体である文化協会、財団法人石巻市文化スポーツ振興公社と行政が協働して推進することが重要であり、今後とも本市の芸術文化の推進には、欠かせない民間団体である。																																						
取 組 実 績	<p>1 石巻市文化協会の運営の支援 以下の目的のため設立した石巻市文化協会の運営を支援した。</p> <p>(1) 地域の芸術文化の発展を助長するとともに、その活動を通じて地域文化の振興と向上に寄与する。</p> <p>(2) 芸術文化団体相互の連絡調整を図る。</p> <p>(3) 内外の優れた芸術団体の交流。</p> <p>(4) 歴史・伝統・文化を生かした街づくりの推進に寄与する。</p> <p>2 石巻市文化協会の概要 (平成22年3月31日現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>設立年月日</th> <th>加盟団体数等</th> <th>会員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市文化協会</td> <td>平成17年6月18日</td> <td>215団体 (団体数には賛助会員19の個人、団体を含む。)</td> <td>5,938人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※震災によりデータを流失したため、平成22年3月31日現在のものを計上している。</p> <p>3 主要事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第17回石巻芸術文化祭</td> <td>「舞台公演」平成22年10月24日(日) 「展示会」平成22年10月28日(木)～31日(日)</td> </tr> <tr> <td>かほく文化祭</td> <td>平成22年10月30日(土)～11月3日(水)</td> </tr> <tr> <td>芸能音楽祭</td> <td>平成22年11月1日(月)</td> </tr> <tr> <td>神楽大会</td> <td>平成22年11月3日(水)</td> </tr> <tr> <td>第4回石巻市合同文化祭</td> <td>平成22年6月13日(日)</td> </tr> <tr> <td>第6回かなん文化まつり</td> <td>平成22年6月13日(日)</td> </tr> <tr> <td>第34回おがつ文化祭</td> <td>平成22年10月31日(日)～11月3日(水)</td> </tr> <tr> <td>第26回雄勝文化講演会</td> <td>平成22年9月17日(金)</td> </tr> <tr> <td>第27回おがつ芸能祭</td> <td>平成22年10月17日(日)</td> </tr> <tr> <td>桃生地区文化祭</td> <td>平成22年10月30日(土)～10月31日(日)</td> </tr> <tr> <td>桃生地区芸能祭</td> <td>平成23年1月23日(日)</td> </tr> <tr> <td>北上地区文化祭</td> <td>平成22年10月22日(金)～24日(日)</td> </tr> </tbody> </table>					名称	設立年月日	加盟団体数等	会員数	石巻市文化協会	平成17年6月18日	215団体 (団体数には賛助会員19の個人、団体を含む。)	5,938人	事業名	開催期間	第17回石巻芸術文化祭	「舞台公演」平成22年10月24日(日) 「展示会」平成22年10月28日(木)～31日(日)	かほく文化祭	平成22年10月30日(土)～11月3日(水)	芸能音楽祭	平成22年11月1日(月)	神楽大会	平成22年11月3日(水)	第4回石巻市合同文化祭	平成22年6月13日(日)	第6回かなん文化まつり	平成22年6月13日(日)	第34回おがつ文化祭	平成22年10月31日(日)～11月3日(水)	第26回雄勝文化講演会	平成22年9月17日(金)	第27回おがつ芸能祭	平成22年10月17日(日)	桃生地区文化祭	平成22年10月30日(土)～10月31日(日)	桃生地区芸能祭	平成23年1月23日(日)	北上地区文化祭	平成22年10月22日(金)～24日(日)
名称	設立年月日	加盟団体数等	会員数																																				
石巻市文化協会	平成17年6月18日	215団体 (団体数には賛助会員19の個人、団体を含む。)	5,938人																																				
事業名	開催期間																																						
第17回石巻芸術文化祭	「舞台公演」平成22年10月24日(日) 「展示会」平成22年10月28日(木)～31日(日)																																						
かほく文化祭	平成22年10月30日(土)～11月3日(水)																																						
芸能音楽祭	平成22年11月1日(月)																																						
神楽大会	平成22年11月3日(水)																																						
第4回石巻市合同文化祭	平成22年6月13日(日)																																						
第6回かなん文化まつり	平成22年6月13日(日)																																						
第34回おがつ文化祭	平成22年10月31日(日)～11月3日(水)																																						
第26回雄勝文化講演会	平成22年9月17日(金)																																						
第27回おがつ芸能祭	平成22年10月17日(日)																																						
桃生地区文化祭	平成22年10月30日(土)～10月31日(日)																																						
桃生地区芸能祭	平成23年1月23日(日)																																						
北上地区文化祭	平成22年10月22日(金)～24日(日)																																						
成 果	文化協会及び文化団体の事業を支援することにより、芸術文化の振興が図られた。																																						
成果に係る評価	文化協会は、旧市町にそれぞれ存在し、民間の文化振興の中核を担っている組織であった。合併後に大同団結し、石巻市文化協会が誕生し、旧市町を横断した活動が始まっている。今回の震災で壊滅的な打撃を受けた協会もあるが、それぞれの地域に根ざした活動も続けていく必要があり、今後とも石巻市文化協会に対しては継続して支援していく必要がある。																																						
予算の執行状況	(単位：円)																																						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
1,645,000	1,645,000				1,645,000																																		



予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																				
	6 項	社会教育費		第 2 節	地域全体で子どもたちを育成する																																				
	1 目	社会教育総務費		( 1 )	地域・家庭の教育力を強化する																																				
小 事 業	家庭教育学級開設費																																								
事 業 名	家庭教育学級開設事業																																								
目的及び事業内容	<p>家庭や両親のあり方、子どもの心身の成長と子育て、子どもの成長と家庭環境等家庭教育に関する学習の機会を提供し、子育てについての理解を深め、望ましい家庭教育ができるようにする。幼稚園、小・中学校の保護者を対象として、各幼稚園・各学校単位に地域のニーズに合った内容で学級を開設する。また、平成22年度からは社会教育指導員を配置し、家庭教育に関する専門的な学習支援や相談体制の確立を図る。</p>																																								
取組実績	<p>家庭や両親のあり方、子どもの心身の成長と子育て、子どもの成長と家庭環境等、家庭教育に関する学習機会を提供し、子育てについての理解を深め、望ましい家庭教育ができるよう家庭教育学級を開設した。</p> <p>1 開設機関 各地区（石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿）の公民館  2 実施機関 各地区の幼稚園（私立も含む）、小学校、中学校  3 開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>学 級</th> <th>回 数</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻地区</td> <td>34</td> <td>86回</td> <td>5,076人</td> </tr> <tr> <td>河北地区</td> <td>9</td> <td>15回</td> <td>752人</td> </tr> <tr> <td>雄勝地区</td> <td>7</td> <td>7回</td> <td>196人</td> </tr> <tr> <td>河南地区</td> <td>13</td> <td>22回</td> <td>1,396人</td> </tr> <tr> <td>桃生地区</td> <td>6</td> <td>14回</td> <td>541人</td> </tr> <tr> <td>北上地区</td> <td>7</td> <td>14回</td> <td>362人</td> </tr> <tr> <td>牡鹿地区</td> <td>5</td> <td>9回</td> <td>232人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>81</td> <td>167回</td> <td>8,555人</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	学 級	回 数	参加者	石巻地区	34	86回	5,076人	河北地区	9	15回	752人	雄勝地区	7	7回	196人	河南地区	13	22回	1,396人	桃生地区	6	14回	541人	北上地区	7	14回	362人	牡鹿地区	5	9回	232人	計	81	167回	8,555人
区 分	学 級	回 数	参加者																																						
石巻地区	34	86回	5,076人																																						
河北地区	9	15回	752人																																						
雄勝地区	7	7回	196人																																						
河南地区	13	22回	1,396人																																						
桃生地区	6	14回	541人																																						
北上地区	7	14回	362人																																						
牡鹿地区	5	9回	232人																																						
計	81	167回	8,555人																																						
成 果	<p>受講生のニーズに配慮した学習課題の設定と多様な学習方法の実施により、子どもの心身の発達に即した子育てや家庭学級のあり方についての理解が深まり、豊かな知識と情操、社会性を養うことができた。</p> <p>なお、受講生の満足度を重視し、事業の目的を明確化することにより、新たな改革改善につなげ事業の充実を図ることを目的に平成20年度から受講生の評価ポイントを実施している。</p> <p>市立・私立保育所、幼稚園及び小・中学校合わせて112機関のうち、平成22年度に開設したのが81機関（72.3%）、そのうち参観日等を活用して実施したのは35機関（31.3%）まで増加し、参加者数にも大きな伸びが見られた。今後とも受講生のニーズ等を把握しながら、就学時検診や入学説明会など多くの親が集まる機会等を活用しながら家庭教育関連の学習機会の効果的な提供に努めたい。</p>																																								
成果に係る評価	<p>地域連帯の希薄化、核家族化などにより子どもを育てる環境は悪化しているため、地域・学校・家庭の交流の場づくり、学習支援及び学習情報の提供が重要になってきている。今後は、地域・学校・家庭の連携強化を図るとともに、家庭教育の大切さを理解していただきながら、家庭教育の担い手である親への学習機会や学習内容、情報提供等を一層充実していく。なお、未実施機関については、事業の必要性を理解していただき実施するよう働きかけ、学級開設の範囲拡大について検討していきたい。</p>																																								
（単位：円）																																									
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳																																						
	決算額		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	750,000	750,000	500,000			250,000																																			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち															
	6 項	社会教育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する															
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ															
小 事 業	子ども読書活動推進費																			
事 業 名	ブックスタート事業																			
目的及び事業内容	乳幼児期からの過程における読書活動の推進方策の一環として、乳幼児期に絵本との出会いの機会を創出し、さらには絵本の選び方や読み聞かせの方法についての保護者への啓発を行う。																			
取 組 実 績	<p>健康推進課で行っている3～4か月児健診の場において、乳児と保護者に対し、公募によるボランティアの読み聞かせを行いながら、ブックスタートパックを配布した。</p> <table border="0"> <tr> <td>3～4か月児健診</td> <td>対象者数</td> <td>1,043人</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>受診者数</td> <td>1,010人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック</td> <td>配布者数</td> <td>1,010人</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック</td> <td>配布率（対対象者）</td> <td>96.8%</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートパック</td> <td>配布率（対受診者）</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>					3～4か月児健診	対象者数	1,043人	〃	受診者数	1,010人	ブックスタートパック	配布者数	1,010人	ブックスタートパック	配布率（対対象者）	96.8%	ブックスタートパック	配布率（対受診者）	100.0%
3～4か月児健診	対象者数	1,043人																		
〃	受診者数	1,010人																		
ブックスタートパック	配布者数	1,010人																		
ブックスタートパック	配布率（対対象者）	96.8%																		
ブックスタートパック	配布率（対受診者）	100.0%																		
成 果	乳幼児にとって、心の成長に欠かすことのできない人への信頼感と温かな心を育む時間と、保護者においても、かわいい赤ちゃんとの楽しくかけがえのないふれあいの時間の創出につながった。																			
成果に係る評価	この事業は、絵本を配布するだけでなく、3～4か月児健診の場において、ボランティアの方に実際に読み聞かせを行っていただいて、その場で配布しているため、ボランティアの確保が必須である。また、3～4か月児健診（年間60回）の場で行っているため、健康推進課及び図書館との連携を図り事業を遂行する必要がある。																			
（単位：円）																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源														
	2,237,692	2,198,114				2,198,114														

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	文化財を保護し継承する
小 事 業	毛利コレクション調査推進費				
事 業 名	毛利コレクション調査整理事業				
目的及び事業内容	調査研究は、すべての活動の基礎である。コレクションの全体像と内容の把握のため、専任職員を配置し調査活動を行う。				
取 組 実 績	<p>平成12年度に毛利コレクション調査推進室を設置し、以後専任体制で全体像把握のための調査を実施している。平成19年度までに、灯火具・アイヌ資料等3,786点、書簡類3,332点及びマッチラベル82,052点合わせて89,170点が調査済である。</p> <p>平成22年度も継続して鑄銭場関係資料の調査・整理を行い、個別データの採取、写真撮影及び実測図作成を行った。しかし、震災により全データを流失した。</p>				
成 果	平成21年度に引き続き、鑄銭場関係資料を対象に調査を実施し、鑄銭場関係資料等について実測図作成及び写真撮影を実施したが、震災により全データを流失した。				
成果に係る評価	<p>毛利コレクションを市民共有の財産として保存・継承するための一番基礎的な作業であり、今後とも継続していく必要がある。しかし、コレクションの総数は10万点を越え、現在においてもその実数は把握できていない。</p> <p>これまで行ってきた調査整理事業の整理データは、文化センターの被災により全データを流失した。毛利コレクションの積極的活用には、基礎調査を推進することが肝要であり、今後検討を要する。</p>				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	3,788,000	3,579,297			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																		
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する																		
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	創造力を育てる多様な環境をつくる																		
小 事 業	協働教育推進事業費																						
事 業 名	協働教育推進事業																						
目的及び事業内容	地域社会と学校教育が協働の仕組みを支える協議会を設置し、地域の特性を活かした教育活動を実施し、子どもたちの「生きる力」を醸成する。 また、石巻の自然・文化等の素材を活かした体験活動を行い、地域の自然や伝統文化などの学習機会を創出する。																						
取 組 実 績	<p>1 コラボスクール推進事業（市内小学校区9推進協議会へ委託）</p> <p>協働教育支援会議1回開催、協働教育フォーラム2回開催、協働教育コーディネーター研修会3回開催</p> <table border="0"> <tr> <td>湊小学校区コラボスクール推進協議会年3回開催</td> <td>8事業実施</td> </tr> <tr> <td>東浜小学校区 "</td> <td>年3回開催 6事業実施</td> </tr> <tr> <td>中里小学校区 "</td> <td>年2回開催 9事業実施</td> </tr> <tr> <td>飯野川第一小学校区 "</td> <td>年3回開催 5事業実施</td> </tr> <tr> <td>船越小学校区 "</td> <td>年4回開催 8事業実施</td> </tr> <tr> <td>前谷地小学校区 "</td> <td>年3回開催 9事業実施</td> </tr> <tr> <td>和淵小学校区 "</td> <td>年2回開催 10事業実施</td> </tr> <tr> <td>中津山第一小学校区 "</td> <td>年2回開催 9事業実施</td> </tr> <tr> <td>橋浦小学校区 "</td> <td>年3回開催 8事業実施</td> </tr> </table> <p>2 ふるさと子どもカレッジ事業</p> <p>参加者 石巻市内小学校5・6年生40人 （石巻地区27人、河北地区4人、河南地区8人、桃生地区1人）</p> <p>9事業実施 延べ参加者数 281人</p>					湊小学校区コラボスクール推進協議会年3回開催	8事業実施	東浜小学校区 "	年3回開催 6事業実施	中里小学校区 "	年2回開催 9事業実施	飯野川第一小学校区 "	年3回開催 5事業実施	船越小学校区 "	年4回開催 8事業実施	前谷地小学校区 "	年3回開催 9事業実施	和淵小学校区 "	年2回開催 10事業実施	中津山第一小学校区 "	年2回開催 9事業実施	橋浦小学校区 "	年3回開催 8事業実施
湊小学校区コラボスクール推進協議会年3回開催	8事業実施																						
東浜小学校区 "	年3回開催 6事業実施																						
中里小学校区 "	年2回開催 9事業実施																						
飯野川第一小学校区 "	年3回開催 5事業実施																						
船越小学校区 "	年4回開催 8事業実施																						
前谷地小学校区 "	年3回開催 9事業実施																						
和淵小学校区 "	年2回開催 10事業実施																						
中津山第一小学校区 "	年2回開催 9事業実施																						
橋浦小学校区 "	年3回開催 8事業実施																						
成 果	<p>1 コラボスクール推進事業</p> <p>支援会議における報告や意見交換、モデル校訪問は、それぞれの各小学校区のコラボスクール推進事業を改善・充実させ推進する上で有効な情報提供の機会となっていた。本事業を視聴覚センターが編集したDVD等で広く情報提供することができ、協働教育推進機運の醸成を引き出すことができた。</p> <p>2 ふるさと子どもカレッジ事業</p> <p>参加した子どもたちは、郷土の自然や文化などを一緒に学び体験することにより、それぞれの地域の良さを認め、郷土に誇りを持つ良いきっかけとなった。また、体験を前面に打ち出すことで、現場での生きた経験を積むことができた。</p>																						
成果に係る評価	協働教育推進事業は、子どもたちの生きる力を育む教育活動の充実・改善を目指し、社会の中でたくましく生きる子どもたちを地域全体で育もうとするものであり、今後、ますますその重要性を増すものであると考えている。本事業を構成する「協働教育支援会議」、「研修事業」、「コラボスクール委託事業」、「ふるさと子どもカレッジ事業」については、ボランティアの協力等に支えられながら、最大の効果が発揮されるよう努力している。																						
（単位：円）																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	1,352,000	1,151,781				1,151,781																	

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																				
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する																																				
	1 目	社会教育総務費		( 2 )	創造力を育てる多様な環境をつくる																																				
小 事 業	まちなか実験室事業費																																								
事 業 名	まちなか実験室事業																																								
目的及び事業内容	子どもを対象に、科学実験、自然体験及び模擬発明等「遊びや体験の場」としての教室活動を展開し、「学ぶ楽しさ・知る喜び」を実感させる。																																								
取 組 実 績	<p>講師、指導者となる団体又は企業を募り、その団体又は企業への委託事業とし、総合支所単位でそれぞれ実験室を開催した。また、市長自ら講師として、川開き祭りにおいて空き店舗を活用し実験室を開催した。</p> <p>1 公募によるまちなか実験室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催場所</th> <th>月 日</th> <th>内 容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河 北 地 区</td> <td>11月6日</td> <td>尺取虫ロボット製作</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>雄 勝 地 区</td> <td>11月27日</td> <td>たのしい原子・分子の世界</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>河 南 地 区</td> <td>11月23日</td> <td>誰でも簡単おいしいマジック</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>桃 生 地 区</td> <td>12月4日</td> <td>不思議な石</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>北 上 地 区</td> <td>10月24日</td> <td>電気不思議実験・体験</td> <td>99人</td> </tr> <tr> <td>牡 鹿 地 区</td> <td>11月13日</td> <td>楽しい気体（ガス）発生実験</td> <td>34人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 川開き祭りでのまちなか実験室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催場所</th> <th>月 日</th> <th>内 容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石巻市立町</td> <td>8月1日・2日</td> <td>冷た～い液体窒素の世界を体験</td> <td>388人</td> </tr> </tbody> </table>					開催場所	月 日	内 容	参加人数	河 北 地 区	11月6日	尺取虫ロボット製作	17人	雄 勝 地 区	11月27日	たのしい原子・分子の世界	4人	河 南 地 区	11月23日	誰でも簡単おいしいマジック	31人	桃 生 地 区	12月4日	不思議な石	54人	北 上 地 区	10月24日	電気不思議実験・体験	99人	牡 鹿 地 区	11月13日	楽しい気体（ガス）発生実験	34人	開催場所	月 日	内 容	参加人数	石巻市立町	8月1日・2日	冷た～い液体窒素の世界を体験	388人
開催場所	月 日	内 容	参加人数																																						
河 北 地 区	11月6日	尺取虫ロボット製作	17人																																						
雄 勝 地 区	11月27日	たのしい原子・分子の世界	4人																																						
河 南 地 区	11月23日	誰でも簡単おいしいマジック	31人																																						
桃 生 地 区	12月4日	不思議な石	54人																																						
北 上 地 区	10月24日	電気不思議実験・体験	99人																																						
牡 鹿 地 区	11月13日	楽しい気体（ガス）発生実験	34人																																						
開催場所	月 日	内 容	参加人数																																						
石巻市立町	8月1日・2日	冷た～い液体窒素の世界を体験	388人																																						
成 果	身近な「なぜ？」から、解き明かす自主性と創造する心を育み、また、自然の大切さや思いやりを知り、子どもの科学に対する興味・関心を高めることにより、創造性と思いやりのある豊かな心を持つ子どもを育成できた。																																								
成果に係る評価	多くの子どもたちが科学に対する興味・関心があるということを知ることができた。今後も子どもたちに科学実験等の体験の機会を提供するため、企画や運営について更なる検討をしていく必要がある。																																								
予算の執行状況	(単位：円)																																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
700,000	459,262				459,262																																				

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち												
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ												
	2 目	文化財保護費		( 2 )	文化財を保護し継承する												
小 事 業	文化財保護管理費																
事 業 名	文化財保護管理事業（旧ハリストス正教会教会堂公開）																
目的及び事業内容	本市の文化財保護・保存活動を広く内外に周知するとともに、より多くの県民・市民に対して、文化財愛護思想の啓蒙普及を図る。																
取 組 実 績	<p>&lt;旧ハリストス正教会教会堂入館者数&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>284人</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>492人</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>3,520人</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>3,374人</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>5,082人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H22は震災のため2月までの実績を計上している。</p> <p>平成17、18年度は、教育委員会への予約により見学を受け付けていたため、入館者数が激減した。平成20年度からは、石ノ森萬画館への依頼による公開を実施した結果、順調な入館者数の増加が見られる。</p> <p>なお、見学者に対しては、榊街づくりまんぼうの協力により、街づくりボランティアが解説を行ったほか、必要に応じて学芸員が現地で解説を行った。震災により、甚大な被害があったので、現在は立ち入り禁止としている。</p>					年度	人数	H18	284人	H19	492人	H20	3,520人	H21	3,374人	H22	5,082人
年度	人数																
H18	284人																
H19	492人																
H20	3,520人																
H21	3,374人																
H22	5,082人																
成 果	平成20年度から、榊街づくりまんぼうの協力を得て、開錠・施錠管理を依頼している。これにより、常時開館が可能となり、当教会堂の公開に伴う観覧者は、前年度並びに前々年度に比較して大幅に増加している。これにより、多くの市民に対して文化財の理解と愛護思想の高揚が図られた。																
成果に係る評価	被災した現在の建物を指定文化財として保護管理していくには、移転を含めた復元方法の検討が必要である。																
予算の執行状況	（単位：円）																
	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
483,000	425,059				425,059												

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち								
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくみ								
	2 目	文化財保護管理費		( 2 )	文化財を保護し継承する								
小 事 業	齋藤氏庭園管理費、齋藤氏庭園整備事業費												
事 業 名	国指定名勝「齋藤氏庭園」保存管理事業												
目的及び事業内容	<p>1 国指定名勝「齋藤氏庭園」の保存修復とともに、適切に管理・公開することにより、文化財の保護、保存を図る。</p> <p>2 公有化事業の実施。</p>												
取 組 実 績	<p>1 齋藤氏庭園観覧者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>有料観覧者数</th> <th>減免観覧者数</th> <th>無料観覧者数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,405 人</td> <td>55 人</td> <td>196 人</td> <td>1,656 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 齋藤氏庭園樹木剪定業務</p> <p>3 国指定名勝「齋藤氏庭園」公有化事業</p> <p>4 池の浚渫委託業務（鯉の移動業務含む。）</p> <p>5 消防設備設置業務</p>					有料観覧者数	減免観覧者数	無料観覧者数	合計	1,405 人	55 人	196 人	1,656 人
有料観覧者数	減免観覧者数	無料観覧者数	合計										
1,405 人	55 人	196 人	1,656 人										
成 果	<p>1 平成21年4月から「齋藤氏庭園の管理団体」として、3人の管理人（パート職員）を雇用し、維持管理を行うとともに、樹木剪定等庭木の管理を委託し、国民共有の財産として保存するとともに、広く公開することにより、市民の郷土意識を育み、また本市の観光資源として活用できた。</p> <p>2 公有化事業は、所有者の同意が得られたので実施できた。</p>												
成果に係る評価	<p>管理団体としての基本的な維持管理を実施した。          なお、抜本的な保存修復については、文化庁の指導を受けながら、修復計画を策定し、実施していく。</p>												
予算の執行状況	(単位：円)												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
153,070,740	143,983,475		19,700,000	682,050	123,601,425								

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち																				
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる																				
	4 目	図書館費		( 1 )	市民の主体的な学習活動を支援する																				
小 事 業	図書館活動費																								
事 業 名	読書環境整備事業																								
目的及び事業内容	図書館法第3条に基づき、必要な資料を収集し住民の利用に供する。公立図書館は「図書、記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、地域住人の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するとともに、住民の教育と文化の発展に寄与する」ことを目的とされている。これらを踏まえ、市民の要望に応えるためには有用な図書資料や情報の収集・提供に努め図書館サービスを推進する。																								
取 組 実 績	<p>1 新刊書を中心とした図書資料の購入・貸出</p> <p>(1) 新刊書を中心に、図書館で選定した図書及び利用者からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、市民に提供した。</p> <p>(2) 新着図書コーナーに、新着図書の一覧を掲示することによって、新刊図書等の利用促進が図られた。</p> <p>2 レファレンス等による関連図書資料の貸出</p> <p>(1) 受付カウンターでのレファレンス(調査・相談)業務に基づき、テーマに関連した図書資料を含めて紹介するとともに、貸出を行った。</p> <p>(2) 特定テーマによる企画展・ミニ展示を開催し、利用者の関心を惹きつけ、図書資料の紹介と貸出につなげることができた。</p> <p>3 ブックスタート活動の一環とした事業</p> <p>毎月1回、1歳代の乳幼児を対象に、「あかちゃんおはなし会」を実施した。</p> <p>4 ゴールデンウィーク期間中の特別開館による貸出</p> <p>5月3日から5日までの期間中特別開館し、利用者の便を図りつつ図書資料の貸出を行い、延べ1,087人の利用者があり、うち330人に対して1,679冊の貸出を行い、市民の読書活動を支援した。</p>																								
成 果	<p>活字離れ・読書離れが深刻な問題となりつつある中、石巻市図書館としては新刊書の購入・提供に力点を置き、さらにリクエスト図書の購入・他館からの借受けを促進して対応した。また、レファレンスサービスによる図書資料の紹介の充実を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">主な指標項目</th> <th style="width: 15%;">H20</th> <th style="width: 15%;">H21</th> <th style="width: 15%;">H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書購入冊数</td> <td>5,473 冊</td> <td>6,840 冊</td> <td>6,703 冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>353,334 冊</td> <td>356,541 冊</td> <td>311,884 冊</td> </tr> <tr> <td>リクエスト処理件数</td> <td>8,443 件</td> <td>8,929 件</td> <td>7,469 件</td> </tr> <tr> <td>調査相談サービス</td> <td>2,002 件</td> <td>2,016 件</td> <td>1,668 件</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H20	H21	H22	図書購入冊数	5,473 冊	6,840 冊	6,703 冊	貸出冊数	353,334 冊	356,541 冊	311,884 冊	リクエスト処理件数	8,443 件	8,929 件	7,469 件	調査相談サービス	2,002 件	2,016 件	1,668 件
主な指標項目	H20	H21	H22																						
図書購入冊数	5,473 冊	6,840 冊	6,703 冊																						
貸出冊数	353,334 冊	356,541 冊	311,884 冊																						
リクエスト処理件数	8,443 件	8,929 件	7,469 件																						
調査相談サービス	2,002 件	2,016 件	1,668 件																						
成果に係る評価	東日本大震災の影響によって、3月12日以降は閉館となり、主な各指標は減少する結果となったが、依然として、人口1人当りの図書購入費や貸出冊数などが、県平均を下回っている状況にあるため、引き続き、図書資料費を確保、拡大させていく必要がある。																								
予算の執行状況	(単位：円)																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
11,000,000	10,999,956				10,999,956																				



予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち																									
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ																									
	1 5 目	社会教育総務費 文化センター費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する																									
小 事 業	芸術文化振興費、文化センター運営費																													
事 業 名	文化芸術事業、石巻文化センター管理運営事業																													
目的及び事業内容	本市の文化芸術の活性化を図るため、財団法人石巻市文化スポーツ振興公社に文化芸術事業推進のための補助金を交付し、質の高い文化芸術を鑑賞できる機会を提供するとともに、学習・鑑賞・創造の文化活動を営むための中心施設として、文化センターの有効活用を推進するため、本市の文化芸術の専門的機関である同財団を指定管理者として選定し、施設運営の効率化を図る。																													
取 組 実 績	1 指定管理者 財団法人石巻市文化スポーツ振興公社																													
	2 指定管理料 93,183,517円																													
	3 指定期間 平成18年4月1日～平成23年3月31日																													
	4 公演鑑賞事業（主要なもののみ掲載）																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>会場</th> <th>入場者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京バレエ団「ジゼル」公演</td> <td>市民会館</td> <td>884人</td> </tr> <tr> <td>陸上自衛隊東北方面音楽隊石巻演奏会</td> <td>市民会館</td> <td>981人</td> </tr> <tr> <td>松竹大歌舞伎公演</td> <td>東京エレクトロンホール宮城</td> <td>92人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">エンジョイライブ講演会 戦場カメラマン渡部陽一講演会</td> <td>遊楽館</td> <td>398人</td> </tr> <tr> <td>文化センター</td> <td>416人</td> </tr> <tr> <td>仙台フィルと地域との交流事業（地元プラスバンドとの交流コンサート）</td> <td>文化センター</td> <td>294人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">街中コンサート（仙台フィルによる弦楽四重奏）</td> <td>石巻中央公民館</td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td>石巻市立病院</td> <td>100人</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	会場	入場者	東京バレエ団「ジゼル」公演	市民会館	884人	陸上自衛隊東北方面音楽隊石巻演奏会	市民会館	981人	松竹大歌舞伎公演	東京エレクトロンホール宮城	92人	エンジョイライブ講演会 戦場カメラマン渡部陽一講演会	遊楽館	398人	文化センター	416人	仙台フィルと地域との交流事業（地元プラスバンドとの交流コンサート）	文化センター	294人	街中コンサート（仙台フィルによる弦楽四重奏）	石巻中央公民館	200人	石巻市立病院	100人
	事業名	会場	入場者																											
	東京バレエ団「ジゼル」公演	市民会館	884人																											
	陸上自衛隊東北方面音楽隊石巻演奏会	市民会館	981人																											
	松竹大歌舞伎公演	東京エレクトロンホール宮城	92人																											
	エンジョイライブ講演会 戦場カメラマン渡部陽一講演会	遊楽館	398人																											
文化センター		416人																												
仙台フィルと地域との交流事業（地元プラスバンドとの交流コンサート）	文化センター	294人																												
街中コンサート（仙台フィルによる弦楽四重奏）	石巻中央公民館	200人																												
	石巻市立病院	100人																												
5 育成事業（主要なもののみ掲載）																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>音楽アウトリーチ事業</td> <td>開催校 向陽小、貞山小、蛇田小、中里小</td> </tr> <tr> <td>0歳からのコンサート「はじめてのクラシック」</td> <td>入場者282人 会場：文化センター</td> </tr> <tr> <td>幼児対象公演鑑賞会</td> <td>参加者699人 会場：市民会館</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	備 考	音楽アウトリーチ事業	開催校 向陽小、貞山小、蛇田小、中里小	0歳からのコンサート「はじめてのクラシック」	入場者282人 会場：文化センター	幼児対象公演鑑賞会	参加者699人 会場：市民会館																		
事業名	備 考																													
音楽アウトリーチ事業	開催校 向陽小、貞山小、蛇田小、中里小																													
0歳からのコンサート「はじめてのクラシック」	入場者282人 会場：文化センター																													
幼児対象公演鑑賞会	参加者699人 会場：市民会館																													
6 文化センター各施設利用状況（H22. 4. 1～H23. 1. 31）																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総利用件数</th> <th rowspan="2">総利用者数</th> <th colspan="2">ホール</th> <th colspan="2">活動室</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>人数</th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,496件</td> <td>60,198人</td> <td>137件</td> <td>29,437人</td> <td>203件</td> <td>4,906人</td> </tr> </tbody> </table>					総利用件数	総利用者数	ホール		活動室		件数	人数	件数	人数	1,496件	60,198人	137件	29,437人	203件	4,906人										
総利用件数	総利用者数	ホール		活動室																										
		件数	人数	件数	人数																									
1,496件	60,198人	137件	29,437人	203件	4,906人																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">研修室</th> <th>ギャラリー等</th> <th colspan="2">創作室</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>人数</th> <th>件数</th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>896件</td> <td>25,262人</td> <td>56件</td> <td>204件</td> <td>593人</td> </tr> </tbody> </table>					研修室		ギャラリー等	創作室		件数	人数	件数	件数	人数	896件	25,262人	56件	204件	593人											
研修室		ギャラリー等	創作室																											
件数	人数	件数	件数	人数																										
896件	25,262人	56件	204件	593人																										
7 展示室入館者状況（H22. 4. 1～H23. 1. 31）																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総観覧者数</th> <th>常設展観覧者</th> <th>企画展観覧者</th> <th>市美術展観覧者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,769人</td> <td>5,543人</td> <td>4,512人</td> <td>1,714人</td> </tr> </tbody> </table>					総観覧者数	常設展観覧者	企画展観覧者	市美術展観覧者	11,769人	5,543人	4,512人	1,714人																		
総観覧者数	常設展観覧者	企画展観覧者	市美術展観覧者																											
11,769人	5,543人	4,512人	1,714人																											
※ 文化センター各施設利用状況及び展示室入館者状況は、震災によるデータ流失のため1月末までの実績を計上している。																														
成 果	子どもたちを含めた多くの市民に、音楽をはじめとした質の高い芸術に身近に触れる機会を提供することができ、市民の芸術文化振興の一助として寄与することができた。 また、芸術文化に精通する専門的職員が施設を管理することにより、市民の施設利用の利便性が図られるとともに、施設管理の効率性が図られた。																													
成果に係る評価	石巻市文化芸術基本方針において、財団法人石巻市文化スポーツ振興公社が本市の文化芸術活動の中核と位置づけられているとともに、民間が実施する公演では、採算ベースに乗らない事業も実施している。 文化センターの被災により、今後の文化活動の実施方法等の検討が必要である。																													
（単位：円）																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																								
	101,055,500	100,428,467			33,057,300	67,371,167																								

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる
	6 目	生涯学習推進費		( 1 )	市民の主体的な学習活動を支援する
小 事 業	生涯学習推進費				
事 業 名	生涯学習指導者登録事業				
目的及び事業内容	<p>優れた専門知識、技能、特技を有する講師や指導者の発掘とニーズに応じた情報提供活動を行い、市民や地域の団体・グループ、学校等が企画し実施する学習活動を支援し、市全体の生涯学習の更なる推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門知識、技能、特技を有する新たな人材や団体の発掘及び登録</li> <li>・人材団体情報・出前講座等の情報提供、社会教育施設の紹介</li> </ul>				
取 組 実 績	<p>市民の学習活動を支援するため、さまざまな分野の講師・指導者、各種団体・グループ情報を収集し、必要に応じて情報提供を行い、市民の学習活動をサポートした。</p> <p>人材・団体の登録数は、人材が169人、団体が118団体となっている。出前講座と連携し、市民が身近な場所で自己の生きがいや趣味、そして自分たちの生活に役立つ最適な学習機会の提供を行った。</p>				
成 果	<p>優れた専門知識、技能、特技を有する人材や団体を幅広い分野から登録することにより、市民のニーズに合う学習機会の拡大を図ることができた。また、人材・団体情報、出前講座等の情報を提供することにより、市民が身近な場所で自己の生きがいや趣味、そして自分たちの生活に役立つ学習機会を選択することができた。</p>				
成果に係る評価	<p>人材・団体情報は、市民の学習機会の創出に重要な役割を担っている。今後、更に市民のニーズにあった情報を提供するとともに、出前講座では、庁内だけではなく、その年の話題となった分野に関連する団体と連携を取り、より一層興味のわくメニューを提供できるようにしたい。</p>				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	78,000	20,000			

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち	
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ	
	8 目	歴史文化資料展示施設整備費		( 2 )	文化財を保護し継承する	
小 事 業		歴史文化資料展示施設整備費				
事 業 名		歴史文化資料展示施設整備事業				
目的及び事業内容		郷土に対する誇りと愛着を深めるため、毛利コレクションや高橋英吉作品を含め、市内に所在する歴史文化資料を後世に引継ぎ、広く学習の場とするために展示保管施設を整備する。				
取 組 実 績		平成21年度に策定した石巻市歴史文化資料施設整備計画に基づき、実施設計業務を実施した。				
成 果		石巻市歴史文化資料施設整備実施設計業務を実施した。				
成果に係る評価		市民の意見を反映した基本計画を策定し、平成22年度実施設計、平成23年度工事着工、平成24年度のオープンを目指し、平成22年度は実施設計業務を実施したが、文化センターの被災により今後については、検討を要する。				
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額		決算額の財源内訳			
	決算額		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	27,370,460	26,276,190				26,276,190

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち																																							
	6 項	社会教育費		第 3 節	新たな時代を創造する人材を育成する																																							
	11 目	島の楽校費		( 2 )	創造力を育てる多様な環境をつくる																																							
小 事 業	島の楽校管理運営費																																											
事 業 名	自然体験学習推進事業																																											
目的及び事業内容	島の楽校での集団宿泊訓練を通して、児童・生徒が通常の学校生活では得がたいルールやマナー、助け合うことの大切さを体験的に学び、児童・生徒の健全な心身の育成並びに資質の向上に資する。また、子ども会育成会、ボランティアサークル等の社会教育団体については、集団宿泊訓練施設の場を提供することで、自主的・継続的な活動を奨励し、社会教育の振興を図る。																																											
取 組 実 績	1 島の楽校における自然体験活動の推進																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>団体数</th> <th>利用者数</th> <th>利用者延人数</th> <th>利用延日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>2団体</td> <td>48人</td> <td>96人</td> <td>4日</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>0団体</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0日</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>4団体</td> <td>92人</td> <td>160人</td> <td>7日</td> </tr> <tr> <td>大学・その他</td> <td>16団体</td> <td>328人</td> <td>1,162人</td> <td>96日</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>22団体</td> <td>468人</td> <td>1,418人</td> <td>107日</td> </tr> <tr> <td>社会教育団体等</td> <td>6団体</td> <td>296人</td> <td>708人</td> <td>13日</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>28団体</td> <td>764人</td> <td>2,126人</td> <td>120日</td> </tr> </tbody> </table>					区分	団体数	利用者数	利用者延人数	利用延日数	小学校	2団体	48人	96人	4日	中学校	0団体	0人	0人	0日	高校	4団体	92人	160人	7日	大学・その他	16団体	328人	1,162人	96日	小計	22団体	468人	1,418人	107日	社会教育団体等	6団体	296人	708人	13日	合計	28団体	764人	2,126人
区分	団体数	利用者数	利用者延人数	利用延日数																																								
小学校	2団体	48人	96人	4日																																								
中学校	0団体	0人	0人	0日																																								
高校	4団体	92人	160人	7日																																								
大学・その他	16団体	328人	1,162人	96日																																								
小計	22団体	468人	1,418人	107日																																								
社会教育団体等	6団体	296人	708人	13日																																								
合計	28団体	764人	2,126人	120日																																								
	2 利用者確保のための取組 懸案であったシャワー棟の増設工事を実施し、利用者の利便性の向上を図った。また、パンフレットの配布やホームページの積極的な活用を行い、受入れ人数の増加を図った。																																											
成 果	集団生活をしながら、児童・生徒が自然に親しみ、自然を利用した活動を行うことにより、観察力や創造的な能力が育てられ、さらには共同生活を体験することにより日常生活では得がたいルールやマナーを学ぶとともに、健全な心身の育成が図られた。 また、多くの社会教育団体等が利用することにより、網地島の活性化につながり、離島振興の一翼を担うことができた。																																											
成果に係る評価	シャワー棟の増設により、利用者の不便の解消が図られ、より快適な利用を促進することができた。今後は、更なる利便性の向上や体験メニューの充実に努め、自然体験学習の充実を図る。																																											
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	6,833,000	6,116,405			708,680	5,407,725																																						

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち								
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ								
	12 目	河北総合センター費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する								
小 事 業	河北総合センター活動費												
事 業 名	かほく文化祭補助事業												
目的及び事業内容	地域の芸術及び文化活動の推進を図るとともに、住民の創造性や表現力を育み、心豊かな人間性を養うことを目的としており、地域文化の伝承と芸術振興の観点から、充実した事業内容で継続して実施していきけるよう運営補助を行っている。文化祭は、実行委員会が主体となって実施され、サークルの作品展示、芸能音楽祭、レッツダンス、神楽大会により構成されており、住民の関心も高く、毎年多数の人々が鑑賞している。												
取 組 実 績	<p>1 かほく文化祭実行委員会の開催 かほく文化祭の開催にあたり、文化祭実行委員会を立ち上げ開催日時や事業内容について協議を行うとともに、各団体やサークルの代表者による役割分担等についても打合せを行った。</p> <p>2 かほく文化祭の開催</p> <p>(1) 作品展は、文化協会加盟団体や公民館「趣味の教室」、「各種愛好会」の方々の作品展示を主体に、手づくり絵本展、茶道等の実演コーナーを設置して、来館者に体験していただいた。</p> <p>(2) 特別企画展「なつかしの写真展」を開催。高齢者には、古き良き時代を振り返ることで、意識や意欲の活性化に、若い世代には、郷土を愛する心を養うことに効果があった。</p> <p>(3) 芸能音楽祭は、河北文化協会の所属団体、12団体が日頃の練習の成果を文化祭の場で発表した。</p> <p>(4) 神楽大会は、皿貝、福地、後谷地、飯野川法印神楽保存会の4団体が8種類の演舞を披露し、観賞に訪れた人々に、法印神楽の舞いを十分に堪能していただいた。</p> <p>(5) レッツダンスは、河北地区の愛好者を中心に、各地区からの愛好者を含め多数の参加者により、総合センターの広いアリーナを会場に、華やかに披露された。</p>												
成 果	<p>かほく文化祭を開催することにより、河北地域における文化芸術活動の活性化が図られ、地域文化の伝承や芸術振興が推進されている。</p> <p>また、文化や芸術に対する人々の活動は、地域生活への意識改革や人間性の醸成に寄与すると共に、それらの大切さや保存、継承の必要性についての意識を啓発し、文化意識の高い地域社会の形成に大きく役立っている。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来館者数</td> <td>4,100人</td> <td>4,030人</td> <td>4,100人</td> </tr> </tbody> </table>					主な指標項目	H20	H21	H22	来館者数	4,100人	4,030人	4,100人
主な指標項目	H20	H21	H22										
来館者数	4,100人	4,030人	4,100人										
成果に係る評価	かほく文化祭は、昭和61年以来、地域に密着したイベントとして開催されてきており、芸術文化の伝承や住民相互の親睦を深め、地域文化の向上に大きく貢献してきていることから、今後も継続して開催していく必要がある。平成22年度の取り組みとして、事業内容がマンネリ化しないよう「なつかしの写真展」を開催したほか、開催に掛かる費用負担についても、芸能音楽祭に参加する団体から1団体2,000円の参加費を徴収し、地域事業の財源確保は自分達でしなければならないことに重点を置いた。今後、芸能音楽祭のみならず、他の分野からも財源を確保できるようにすることが課題となっている。												
予算の執行状況	(単位：円)												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
1,000,000	1,000,000				1,000,000								

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち																					
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ																					
	13 目	遊楽館費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する																					
小 事 業	遊楽館管理費																									
事 業 名	遊楽館管理運営事業																									
目的及び事業内容	市民の交流及び文化・体育の振興と健康増進を図り、もって公共の福祉の向上に資する。																									
取 組 実 績	1 年間利用者数の状況																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール（楽屋・リハーサル室含む。）</td> <td>23,207人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>18,445人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>4,897人</td> </tr> <tr> <td>会議室（和室・相談室含む。）</td> <td>13,778人</td> </tr> <tr> <td>情報・視聴覚</td> <td>2,494人</td> </tr> <tr> <td>調理室・工房</td> <td>2,549人</td> </tr> <tr> <td>図書・ビデオ</td> <td>4,126人</td> </tr> <tr> <td>プール</td> <td>27,387人</td> </tr> <tr> <td>見学者</td> <td>27,942人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>124,825人</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	利用者数	ホール（楽屋・リハーサル室含む。）	23,207人	アリーナ	18,445人	トレーニング室	4,897人	会議室（和室・相談室含む。）	13,778人	情報・視聴覚	2,494人	調理室・工房	2,549人	図書・ビデオ	4,126人	プール	27,387人	見学者	27,942人	計
区 分	利用者数																									
ホール（楽屋・リハーサル室含む。）	23,207人																									
アリーナ	18,445人																									
トレーニング室	4,897人																									
会議室（和室・相談室含む。）	13,778人																									
情報・視聴覚	2,494人																									
調理室・工房	2,549人																									
図書・ビデオ	4,126人																									
プール	27,387人																									
見学者	27,942人																									
計	124,825人																									
2 河南室内プールの指定管理者による管理運営 (1) 指定管理者 株式会社スポルス (2) 指定管理料 15,947,000円 (3) 指定期間 平成22年4月1日～平成23年3月31日																										
成 果	遊楽館は多目的な機能を有した施設であり、各種団体の活動や音楽関係の発表会、また、各種室内スポーツの練習や大会等多くの方々に利用された。パイプオルガンを活用したコンサートの開催、音楽ホールを生かした各種事業の開催により芸術文化に親しむ機会を提供した。 指定管理による室内プールについてはスクールの実施など自主事業にも力を入れ利用者の健康増進が図られた。																									
成果に係る評価	個人や団体がそれぞれの利用形態に応じて利活用されている。特にかなんホールは設備が充実していることからピアノ教室の発表会やコンサートなど多くの方々に利用されている。今後は利用者のニーズにあった施設運営を行なうためにも機材等の補充が必要である。																									
予算の執行状況	(単位：円)																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																				
75,320,700	72,239,825			13,528,421	58,711,404																					

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち													
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ													
	13 目	遊楽館費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する													
小 事 業	遊楽館活動費																	
事 業 名	遊楽館活動事業																	
目的及び事業内容	遊楽館のシンボルであるパイプオルガンの効果的活用と、かなんホールを拠点に充実した音楽施設を市民に有効的に活用していただくため、自主事業を開催することで、実際に公開しながら遊楽館の活用方法と利点をPRし、利用者の拡充と市民の音楽文化振興に寄与する。																	
取 組 実 績	1 文化振興事業実施状況																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮城学院女子大学音楽科の贈るコンサート (2回)</td> <td>231人</td> </tr> <tr> <td>宮城学院女子大学音楽科オープンキャンパス (ピアノ・フルートクリニック)</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>こもればフォーラム ヒルズコンサート (22回開催)</td> <td>946人</td> </tr> <tr> <td>パイプオルガン体験演奏 (夏期・冬期)</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>パイプオルガン講座</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>宝くじ文化公演 「春風亭小朝独演会」</td> <td>384人</td> </tr> </tbody> </table>					事 業 名	人 数	宮城学院女子大学音楽科の贈るコンサート (2回)	231人	宮城学院女子大学音楽科オープンキャンパス (ピアノ・フルートクリニック)	33人	こもればフォーラム ヒルズコンサート (22回開催)	946人	パイプオルガン体験演奏 (夏期・冬期)	43人	パイプオルガン講座	13人	宝くじ文化公演 「春風亭小朝独演会」
事 業 名	人 数																	
宮城学院女子大学音楽科の贈るコンサート (2回)	231人																	
宮城学院女子大学音楽科オープンキャンパス (ピアノ・フルートクリニック)	33人																	
こもればフォーラム ヒルズコンサート (22回開催)	946人																	
パイプオルガン体験演奏 (夏期・冬期)	43人																	
パイプオルガン講座	13人																	
宝くじ文化公演 「春風亭小朝独演会」	384人																	
2 体育振興事業実施状況																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トレーニング機器使用講習会 (47回開催)</td> <td>247人</td> </tr> </tbody> </table>					事 業 名	人 数	トレーニング機器使用講習会 (47回開催)	247人										
事 業 名	人 数																	
トレーニング機器使用講習会 (47回開催)	247人																	
成 果	<p>「こもればフォーラム ヒルズコンサート」は平成18年4月から毎月2回開催し、平成23年3月で通算116回目の開催となった。身近にパイプオルガンのコンサートを親しんでいただいております。遊楽館を象徴する事業となった。</p> <p>また、パイプオルガンの体験演奏を通じて、市民共有の財産であるパイプオルガンを実際に演奏する機会を提供し、パイプオルガン講座を通じて、市民の中からオルガニストを養成し、コンサートなどで実際に活動している。</p> <p>宮城学院女子大学音楽科との連携事業を通じて、遊楽館の音楽施設を活用しながら、市民に質の高い音楽文化を体験する機会を提供した。</p> <p>また、遊楽館のトレーニングジム利用者の拡大を図り、市民の健康増進に寄与した。</p>																	
成果に係る評価	<p>遊楽館の文化事業は、大学との連携やオルガン演奏ボランティアという独自の制度を活用し、低コストで運営を図っているのが特徴である。特にパイプオルガン事業については、講座の受講生が基礎講座を修了するとボランティアに登録して音楽活動に携わるなど、オルガン文化普及の一翼を担っている。</p> <p>また、トレーニングジム講習者は平成23年3月現在で延べ2,212人となり、近年の健康志向と共に会員も更に増加傾向にある。</p>																	
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	796,000	651,180			600,700	50,480												

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち						
	6 項	社会教育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる						
	13 目	遊楽館費		( 2 )	市民の主体的なスポーツ活動を支援する						
小 事 業	かなんパークゴルフ場運営費										
事 業 名	かなんパークゴルフ場管理運営事業										
目的及び事業内容	市民にパークゴルフを通してスポーツの楽しさと、ふれあいの場を提供し、市民の体力向上や健康増進を図る。										
取 組 実 績	<p>1 指定管理者 有限会社ふれあいパーク</p> <p>2 指定管理料 10,308,000円</p> <p>3 指定期間 平成22年4月1日～平成27年3月31日</p> <p>4 実施事業</p> <p>(1) 初心者への指導、講習（随時）</p> <p>(2) 各種大会の開催（6回開催）</p> <p>(3) 快適なゴルフ場を目指すための施設整備（芝管理、立木の維持、施設の点検維持）</p> <p>5 年間利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>49,195人</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>46,543人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	利用人数	H21	49,195人	H22	46,543人
年度	利用人数										
H21	49,195人										
H22	46,543人										
成 果	平成22年度に休憩所ができ、食堂も設置したことから利用者から大変喜ばれている。利用者数は年々増加傾向にあり平成21年度の利用者数を超える勢いであったが、東日本大震災により休場したことから利用者数は46,543人となり前年度を下回った。										
成果に係る評価	本施設は通年利用が可能なおことから年々利用者が増加している。しかし、通年利用しているため、芝生が痛んでも養生が出来ない状況にある。今後も多くの方に利用していただくためには常に快適なコース整備が求められる。今後は、芝生の養生が出来るようコースの増設と駐車場の整備が課題である。										
予算の執行状況	(単位：円)										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源					
10,345,000	10,343,813				10,343,813						



予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ
	14 目 16 目	(仮称) 市民文化ホール建設推進費 (仮称) 市民文化ホール建設基金費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する
小 事 業	(仮称) 市民文化ホール建設推進費、(仮称) 市民文化ホール建設基金費				
事 業 名	(仮称) 市民文化ホール建設事業				
目的及び事業内容	昭和42年に建築され、本市において文化芸術活動の最大の拠点である現在の市民会館は、老朽化が著しく支障をきたしている。今後の芸術文化の振興を考えた場合、早急な移転新築が必要であり、市民への文化環境を実現するためにも、地域に根ざした活動拠点として、文化施設の基本構想（基礎調査）を実施し、その方向性を導き出す。				
取 組 実 績	<p>1 現市民会館の代替施設としての(仮称)市民文化ホールは、現在及び将来の本市にとって必要な施設であり、その施設の建設・運営などについて、基本構想（基礎調査）を策定した。</p> <p>2 財政状況・社会情勢を勘案しながら、可能な限り基金の積み立てを実施し、建設年度における一般財源の負担軽減を図るため、(仮称)市民文化ホール建設基金条例を制定した。</p>				
成 果	<p>1 (仮称)市民文化ホール基本構想（基礎調査）策定業務を実施した。</p> <p>2 (仮称)市民文化ホール建設基金に、400,251,515円（うち寄附金分251,515円）の積み立てを実施した。</p>				
成果に係る評価	地域文化活動の拠点となるべく文化施設の必要性のもと、(仮称)市民文化ホールについて、基本構想（基礎調査）策定業務を実施したが、成果品については、震災により流失した。震災により、(仮称)市民文化ホールの方向性を再度検討していかなければならない。				
(単位：円)					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
	401,092,000	401,091,515			251,515

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち
	6 項	社会教育費		第 3 節	地域に対する愛着や誇りをはぐくむ
	15 目	(仮称) 地域交流センター建設推進費		( 1 )	多様な文化芸術活動の広がりと交流を推進する
小 事 業	(仮称) 地域交流センター建設推進費				
事 業 名	(仮称) 地域交流センター建設事業				
目的及び事業内容	図書館と公民館機能を有し世代間交流が可能な複合施設とし、学習の場と自己実現、さらにはふれあいと交流の場を提供し、世代の異なる市民の相互交流による、互いの生活文化や価値観の理解を深めながら、生涯学習基本構想による学習社会の具現化及び協働のまちづくりの推進を図る。				
取 組 実 績	図書館と公民館機能を有し世代間交流が可能な複合施設の実現のため、(仮称) 地域交流センターの建設・運営などについて、基本構想(基礎調査)を策定した。				
成 果	(仮称) 地域交流センター建設事業基本構想(基礎調査)策定業務を実施した。				
成果に係る評価	(仮称) 地域交流センター建設事業基本構想(基礎調査)策定業務を実施し、図書館と公民館機能を有し世代間交流が可能な複合施設の実現に向けて検討を進める予定であったが、震災により、その方向性を再度検討していかなければならない。				
予算の執行状況	(単位:円)				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
2,814,000	2,814,000				2,814,000

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 5 章	心ゆたかな誇れるまち			
	7 項	保健体育費		第 4 節	市民が個性を活かして輝ける機会をつくる			
	1 目	保健体育総務費		( 2 )	市民の主体的なスポーツ活動を支援する			
小 事 業	体育奨励費							
事 業 名	スポーツ振興事業							
目的及び事業内容	市民の一体感の醸成・市民の健康づくりと交流促進・「生涯スポーツ社会」の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進・スポーツ少年団加入率の向上・総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、石巻ふれあいマラソン大会、市民スポーツフェスタ、石巻市小学生リレーマラソン大会、いしのまきキッズ交流大会、キッズ・バラエティスポーツ教室を実施している。(以上の5事業：スポーツ振興事業)							
取 組 実 績	<p>1 石巻ふれあいマラソン大会(旧石巻シーサイドマラソン大会)の開催 誰でも気軽にできる「走る」というスポーツを通して、体力の増強と健康の増進を図った。さらに、交通面を考慮し会場を変更したことにより参加者の交流を深め、活力ある健康都市づくりに寄与した。(4コース25種目)</p> <p>2 いしのまき市民スポーツフェスタ 気軽に参加できるスポーツを通じ、市民の健康づくりと交流、地域間の連携の強化を図りながら成人のスポーツ実施率の向上を目指した。 なお、平成21年度より、石巻市体育協会と「協働」で2回実施し、市民スポーツ参加の底辺拡大に努めた。</p> <p>3 石巻市小学生リレーマラソン大会 市民の一体感を醸成する事業の一環として、市内小学校及びスポーツ少年団対抗のリレーマラソン大会を実施するもので、スポーツを通じた青少年の健全育成、子どもたちの体力・運動能力の向上を目指し、さらには、市民のスポーツ参加の一翼を担った。</p> <p>4 いしのまきキッズ交流大会 市内スポーツ少年団及び小・中学校の交流により、青少年の健全育成及び地域間の連携と強化を図りながら、市民のスポーツ参加の一翼を担った。</p> <p>5 キッズ・バラエティスポーツ教室 スポーツをしたいが、何をしたらよいかかわからないという子どもたちに対して、多数のスポーツ種目への体験の場を提供することにより、その中から自分に合った種目を見つけ出し、スポーツ少年団加入等スポーツ活動に取り組む機会を創出させ、子どもたちの体力の向上を図った。</p>							
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度と比較して、2事業で参加者が増加し、2事業で減少した。</li> <li>・小学生リレーマラソン大会については、学校行事と重複したことにより減少した。</li> <li>・キッズ・バラエティスポーツに関しては、10種類のスポーツを2回ずつ行った。</li> </ul>							
	年度	指標項目	石巻ふれあいマラソン	市民スポーツフェスタ	小学生リレーマラソン	いしのまきキッズ交流	キッズ・バラエティスポーツ	計
	H20	参加者数	1,421人	455人	467人	310人		2,653人
	H21		1,734人	537人	367人	370人		3,008人
H22	1,783人		704人	215人	332人	1,609人	4,643人	
※石巻ふれあいマラソンのH20・21の欄には、石巻シーサイドマラソンの実績を計上している。								
成果に係る評価	これらの事業には、「成人のスポーツ実施率の向上」、「子どもたちの体力と運動能力の向上」を達成するために必要な要素が含まれていることから、内容について、スポーツ振興審議会や体育指導委員会等意見の聴取しながら、前向きに検討していくことが必要である。また、事業の企画・運営については、主管である体育協会と「協働」の体制を変えず、可能な限り、運営主体を行政主導から市民主導へと移行することを考慮した。また、各事業において統合を図り、多くの市民が参加しやすい環境の整備及び参加意識の向上に努めた。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,741,000		2,696,854				1,000,000	1,696,854

予算科目	10 款	教育費	基本計画	第 2 章	個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち				
	7 項	保健体育費		第 1 節	「生きる力」を持つ子どもたちを育成する				
	3 目	学校給食費		( 2 )	児童・生徒の豊かな心と体、確かな学力をはぐくむ				
小 事 業	学校給食センター運営費、賄材料費								
事 業 名	学校給食センター運営事業								
目的及び事業内容	<p>児童・生徒に豊かで栄養のバランスのとれた食事を提供し、心身の健全な育成に資する。学校給食を通じて望ましい食生活食習慣の基盤形成を促すとともに、会食をとおして豊かな人間関係を育成する。</p> <p>地場産物を使い地域の特色を生かした学校給食を実施することにより、地域の産物や食文化を理解し尊重する心を育てる。</p>								
取 組 実 績	実施状況								
	(平成22年5月1日現在)								
	区分	学校・園数	児童・生徒・園児数	給食形態	調理場方式	給食実施率			
小学校	43校	8,711人	完全給食	共同調理場方式	100%				
中学校	21校	4,604人	完全給食	共同調理場方式	100%				
幼稚園	2園	87人	完全給食(桃生)	共同調理場方式	100%				
		111人	捕食給食(河北)	共同調理場方式					
取 組 実 績	区分	小学校		中学校		幼稚園		計	
	センター名	対象校数	児童数	対象校数	生徒数	対象園数	園児数	対象校・園数	児童・生徒・園児数
	渡波学校給食センター	8校	3,045人	3校	969人			11校	4,014人
	湊学校給食センター	7校	1,542人	4校	857人			11校	2,399人
	住吉学校給食センター	4校	1,738人	4校	1,506人			8校	3,244人
	河北学校給食センター	11校	953人	6校	541人	1園	111人	18校(園)	1,605人
	河南学校給食センター	9校	1,309人	3校	629人	1園	87人	13校(園)	2,025人
	牡鹿学校給食センター	4校	124人	1校	102人			5校	226人
成 果	<p>1 栄養の改善及び増進が図られた。</p> <p>2 日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養うことができた。</p> <p>3 食育における食文化の継承として、学校給食において次の地場産物利用を図り、食事の提供のみならず「生きた教材」として地域の産物や食文化を理解し尊重する心を育成した。</p> <p>(1) 12月～1月の期間で、各センターで「牡蠣」を使った献立を2回実施</p> <p>(2) 明治時代から続く近代捕鯨という伝統的地域特性を生かし、牡鹿地区において年12回、その他の地区においては年4回、鯨肉の献立を実施</p> <p>4 給食費の未納対策に関して、教育委員会、学校、PTAが一体となり収納対策に努め、悪質な滞納者に対しては、法的措置として石巻簡易裁判所へ「支払督促申立」の実施により、納入者の不公平感の解消及び適切な財源確保に努めた。</p>								
	年度	滞納学校数	滞納者数	滞納繰越額					
	H21	27校	172人	4,960,205円					
	H22	30校	247人	6,735,633円					
	比較増減	3校	75人	1,775,428円					
成果に係る評価	<p>学校給食については、児童・生徒の心身の健全な発育、正しい食習慣の醸成、健康管理のための食生活改善等の目的があり、また、生きた教材として地場産物を使った献立等を提供し食育に資することも求められており、平成22年度においては年間を通じてJAから地元野菜を購入した。</p> <p>給食費の未納対策については、東日本大震災の関係もあり、被災の状況を考慮して今後対応していきたい。</p> <p>また、震災により渡波・湊学校給食センターが被災したため、施設が使用できない状況が続いている。今後、児童・生徒・園児に完全な給食を提供するため早急にセンターを建て替えるなど対策が必要である。</p>								
予算の執行状況	(単位：円)								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
950,858,000	918,330,424			631,640,256	286,690,168				